

若者が活躍できるように、子どもたち、孫たちのために、住みやすく自慢できるまちを！
日本一しあわせなまち、関市を「市民の手」で創ろう。

市民改革2011



市長マニフェスト推進計画

【詳細】

つの改革

関市

平成27年5月
(平成26年度 実績報告)

進捗状況を報告します

※ 平成27年3月末時点の状況です。

計画より進んでいます。(4事業)



番号	manifestoの項目	施策・事業名	担当課	頁
1-3-1	地域のことは地域で ～地域内分権の推進	地域委員会の設置	市民協働課	3
2-7-2	事業の見直しと総人件費の削減	職員数削減事業	職員課	18
3-1-1	関市版「寺子屋」の設置	関市版「寺子屋」	学校教育課	21
4-6-1	道路網の整備	高速道路の整備促進事業	建設総務課	45

計画通り進んでいます。(49事業)

計画より遅れがあります。(1事業)



番号	manifestoの項目	施策・事業名	担当課	頁
4-6-4	道路網の整備	西本郷一ツ山線第2工区整備事業	都市整備課	48

計画に変更があります。(3事業)



番号	manifestoの項目	施策・事業名	担当課	頁
3-8-1	食べ残しゼロ運動 ～学校での自校炊飯と食育	自校炊飯の導入	学校教育課	29
4-5-3	災害への備え	公立保育園の耐震化事業	子ども家庭課	43
5-6-1	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用したPR	SNS活用事業(行政情報)	企画政策課	68

計画が完了しました。(1事業)



番号	manifestoの項目	施策・事業名	担当課	頁
&	関駅西口駅前広場の整備	関駅西口駅前広場整備事業	都市整備課	73

1 市民主権、市民自治。

自分たちのことは自分たちで決める社会に。

番号	マニフェストの項目	施策・事業名	担当課	頁
1-1-1	まちの憲法 ～自治基本条例の制定	自治基本条例の制定	市民協働課	1
1-2-1	自分たちで知恵を出し合う ～市民会議の設置	市民会議の設置	市民協働課	2
1-3-1	地域のことは地域で ～地域内分権の推進	地域委員会の設置	市民協働課	3
1-4-1	税金の使い道を自分で決める ～1%支援制度の検討	1%市民活動支援制度の創設	市民協働課	4
1-5-1	直接参加 ～市民パートナー制度の実施	市民パートナー事業	企画政策課	5
1-6-1	市長との車座集会の開催(市内全地域)	車座集会の開催	秘書広報課	6
1-7-1	地域事務所に一定程度の予算枠の配分	地域振興予算の創設	市民協働課	7

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 市民協働課

マニフェストの番号	1-1-1		施策・事業の内容	住民自治に基づく自治体運営の基本原則を定めた自治基本条例を制定し、運用します。
マニフェストの改革	1 市民主権、市民自治。 自分たちのことは自分たちで決める社会に。			
マニフェストの項目	まちの憲法 ～自治基本条例の制定			
施策・事業名	自治基本条例の制定			
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換	何を	自治基本条例を
	分野	協働	いつまでに	平成25年度までに
	施策	協働推進方策	どのようにする	制定し、運用します。
	事業	自治基本条例運用事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 自治基本条例について、先行事例を調査研究します。	協議 ①自治基本条例検討委員会を設置し、条例制定の意義等について協議します。 ②自治基本条例策定委員会を設置し、条例の内容について協議します。 ③まちづくり講演会を開催し、自治基本条例制定に向けて市民全体の気運を高めます。	実施 ①自治基本条例策定審議会において条例の素案を作成します。 ②自治基本条例を制定します。 ③自治基本条例市民向けパンフを作成し、配布します。 ④まちづくり講演会を開催し、自治基本条例の運用に向けた啓発を行います。	実施 ①自治基本条例推進審議会において内容等について検証します。条例の適正な運用、見直しについて協議します。 ②条例を適正に運用するとともに、必要に応じて見直します。 ③ホームページや広報を活用して、市民へ普及啓発を行います。	運用 ①自治基本条例推進審議会において内容等について検証します。条例の適正な運用、見直しについて協議します。 ②条例を適正に運用するとともに、必要に応じて見直します。 ③ホームページや広報を活用して、市民へ普及啓発を行います。
	金額	0千円	1,150千円	1,650千円	650千円
変更計画				①最終的な協議を行い、市民の意見を反映させた条例案を作成します。 ②自治基本条例を制定します。 ③自治基本条例推進審議会において内容等について検証します。 ④条例を適正に運用するとともに、必要に応じて見直します。 ⑤ホームページや広報を活用して、市民へ普及啓発を行います。	①自治基本条例推進審議会において条例の運用状況や内容等について評価します。また、条例の適正な運用、見直しについて協議します。 ②中学校の出前講座、職員のミニ研修会などを実施し、市民の周知を行います。 ③ホームページ、広報及びSNSを活用して、市民へ普及啓発を行います。
	金額			961千円	1,050千円
実績	検討 ①自治基本条例について、先行事例を調査研究しました。 ②自治基本条例検討委員会設置要綱を制定しました。	協議 ①自治基本条例策定審議会(委員30人)を設置し、条例の内容について協議しました。 ②まちづくり講演会を開催し、自治基本条例制定に向けて市民全体の気運を高めました。 ③自治基本条例ニュースを発行し、審議の状況を市民に伝えました。	協議 ①自治基本条例策定審議会(委員28人)が、条例素案を市長に答申しました。 ②条例素案のパブリックコメントを実施し、広く市民に内容を周知するとともに意見を集約しました。 ③説明会の開催 ・住民説明会(6回 参加者250人) ・関市自治会連合会総会等(9回 参加者717人) ・職員説明会(1回 参加者230人) ④ホームページへの掲載、自治基本条例ニュースを発行し、審議の状況や条例素案の内容を市民に伝えました。	実施 ①平成26年12月25日に「関市自治基本条例」を制定しました。 http://www.city.seki.lg.jp/0000003370.html ②住民説明会を10回(776人参加)開催しました。 ③自治基本条例講演会(3月14日、大森彌氏、200人参加)を開催し、条例の周知を行いました。	0
	金額	0千円	910千円	1,740千円	441千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 市民協働課

マニフェストの番号	1-2-1		施策・事業の内容	まちづくり市民会議を設置し、市民の意見や提言を市政に活かします。	
マニフェストの改革	1 市民主権、市民自治。 自分たちのことは自分たちで決める社会に。				
マニフェストの項目	自分たちで知恵を出し合う ～市民会議の設置				
施策・事業名	市民会議の設置				
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち		何を	まちづくり市民会議を
	分野	コミュニティ		いつまでに	平成25年度までに
	施策	地域力強化施策		どのようにする	設置します。
	事業	市民協働推進事業			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 まちづくり市民会議の目的と役割について検討します。	試行 ①まちづくり市民会議を試行的に設置します。 ②まちづくり市民会議を試行的に3回開催します。 ③有識者等による評価、検証を実施し、内容の改善等を図ります。	実施 まちづくり市民会議を設置し、3回開催します。	運用 まちづくり市民会議を設置し、3回開催します。	運用 まちづくり市民会議を設置し、3回開催します。
	金額	0千円	600千円	600千円	600千円
変更計画			①まちづくり市民会議(公募委員30人)を設置し、毎月1回会議を開催します。 ②課題抽出のためのグループワークを実施します。 ③3つの研究課題を決定し、解決策を提案するためのグループワークを実施します。 ④市民に対して発表し、市長に政策提言します。	①まちづくり市民会議(公募委員30人)を設置し、毎月1回会議を開催します。 ②課題抽出のためのグループワークを実施します。 ③3つの研究課題を決定し、解決策を提案するためのグループワークを実施します。 ④市民に対して発表し、市長に政策提言します。	①まちづくり市民会議(公募委員30人)を設置し、毎月1回会議を開催します。 ②課題抽出のためのグループワークを実施します。 ③3つの研究課題を決定し、解決策を提案するためのグループワークを実施します。 ④市民に対して発表し、市長に政策提言します。
	金額			600千円	600千円
実績	検討 ①まちづくり市民会議の目的と役割について検討しました。 ②委員構成や運営方法について、協議をしました。 ③運営主体を市民活動センターに決定しました。	実施 ①まちづくり市民会議(委員30人)を設置し、毎月1回会議を開催しました。 ②課題抽出のためのグループワークを実施しました。 ③3つの研究課題を決定し、解決策を提案するためのグループワークを実施しました。	運用 ①第1期まちづくり市民会議(公募委員30人)による政策提案発表会を開催しました。 ②第2期まちづくり市民会議(公募委員26人)を設置し、毎月1回会議を開催しました。 ③4つのグループに分かれ、課題抽出のためのグループワークを実施しました。 ④各グループごとに研究課題を決定し、解決策を提案するためのグループワークを実施しました。	運用 ①第3期まちづくり市民会議(公募委員21人)を設置し、毎月1回の施策協議を行いました。 ②提案を受けた施策の実現を検討しました。 ③4つのグループに分かれ、課題解決のための施策提案のグループワークを実施しました。 ④第2期まちづくり市民会議の政策提案発表会を開催しました。市長に施策提言をしまし	0
	金額	0千円	600千円	600千円	600千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画より進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 市民協働課

マニフェストの番号	1-3-1		施策・事業の内容	各小学校区に地域委員会を設置し、地域課題を自らが解決できる仕組みをつくります。
マニフェストの改革	1 市民主権、市民自治。 自分たちのことは自分たちで決める社会に。			
マニフェストの項目	地域のことは地域で ～地域内分権の推進			
施策・事業名	地域委員会の設置			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち	何を	地域委員会を
	分野	コミュニティ	いつまでに	平成26年度までに
	施策	地域力強化施策	どのようにする	設置します。
	事業	市民協働推進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 地域委員会の設置について、既存の組織や助成金制度を調査し、比較検討します。	試行 ①ふれあいのまちづくり推進委員会や自治会への説明会を開催し、地域委員会制度の普及啓発を図ります。 ②上之保地区及び公募により選定する旧関市、旧武儀郡の各1地区をモデル地区に選定し、地域委員会制度の仕組みづくりに取り組みます。	試行 ①地域委員会の仕組みを他地域へ拡大します。 ②既存団体からの移行、新たな団体により実施します。 2地区実施	試行 ①地域委員会の仕組みを他地域へ拡大します。 ②既存団体からの移行、新たな団体により実施します。 4地区実施	実施 ①地域委員会の仕組みを他地域へ拡大します。 ②既存団体からの移行、新たな団体により実施します。 8地区実施
	金額	0千円	4,000千円	10,000千円	20,000千円
変更計画				①地域委員会の仕組みを他地域へ拡大します。 ②既存団体からの移行、新たな団体により実施します。 ③地域委員会の設置や支援に関する条例等を制定します。 10地区実施	①地域委員会の仕組みを他地域へ拡大します。 ②既存団体からの移行、新たな団体により実施します。 15地区実施
	金額			15,000千円	25,000千円
実績	検討 ①地域委員会の設置について、先行事例、既存の組織や助成金制度を調査研究しました。 ②上之保地域振興計画を作成し、住民の合意を得るための発表会を開催しました。 ③地域委員会の説明会を開催し、モデル地区を公募しました。	試行 ①ふれあいのまちづくり推進委員会や自治会、各種団体への説明会を開催し、地域委員会制度の普及啓発を図りました。 ②上之保地域で地域振興計画に基づいた事業を実施しました。 ③田原、武儀地域をモデル地区に指定し、設立に向けた活動に取り組みました。 ④地域委員会モデル事業推進のため地域支援職員を各地域に4名ずつ派遣しました。	試行 ①ふれあいのまちづくり推進委員会や自治会、各種団体への説明会を開催し、地域委員会制度の普及啓発を図りました。 ②上之保地域で地域振興計画に基づいた事業を実施し、田原、武儀地域で地域委員会を設立しました。 ③洞戸、板取、武芸川地域をモデル地区に指定し、設立に向けて取り組みました。 ④地域委員会モデル事業推進のため、地域支援職員を各地域に4名ずつ派遣しました。	試行 ①地域委員会の仕組みを市内15地域(小学校区)へ拡大しました。 ②地域委員会規則、地域委員会設立支援要綱を作成しました。(施行日H27.4.1) ③各地域に地域支援員(市職員)を配置し、地域住民と行政との協働により、地域課題の洗い出しを行うとともに、地域づくり活動を支援しました。	0
	金額	0千円	2,294千円	3,706千円	13,034千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画より進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 市民協働課





マニフェストの番号	1-4-1		施策・事業の内容	NPOやボランティア団体が行う市民活動を支援するため、市民が自ら納めた市民税の1%の使い道を決められる仕組みをつくります。
マニフェストの改革	1 市民主権、市民自治。	自分たちのことは自分たちで決める社会に。		
マニフェストの項目	税金の使い道を自分で決める ～1%支援制度の検討			
施策・事業名	1%市民活動支援制度の創設			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手をとりあい、いきいき暮らせるまち	何を	1%市民活動支援制度を
	分野	コミュニティ	いつまでに	平成25年度までに
	施策	地域力強化施策	どのようにする	創設します。
	事業	市民協働推進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 市民活動支援制度の先進事例や既存の制度を調査研究します。	試行 既存の市民活動支援制度との調整を図り、1%市民活動支援制度またはその役割を果たす制度を創設します。	実施 ①制度内容を広報します。 ②制度を運用し、市民活動を支援します。	運用 ①制度を運用し、市民活動を支援します。 ②制度内容を検証し、必要に応じて改善します。	運用 ①制度を運用し、市民活動を支援します。 ②制度内容を検証し、必要に応じて改善します。
	金額	0千円	0千円	0千円	40,000千円
変更計画			1%市民活動支援制度を運用し、地域委員会など市民が行う地域づくり活動を支援するための新たな制度を検討します。	個人市民税額の1%相当額を助成金総額とし、地域委員会など市民が行う地域づくり活動を支援するための新たな制度を検討します。 ※ 主な歳出は、(1-3-1)「地域委員会の設置」への交付金に相当	個人市民税額の1%相当額を助成金総額とし、地域委員会など市民が行う地域づくり活動を支援するための新たな制度を検討します。 ※ 主な歳出は、(1-3-1)「地域委員会の設置」への交付金に相当
	金額			(15,000千円)	(25,000千円)
実績	検討 ①市民活動支援制度の先進事例や既存の制度を調査研究しました。 ②市民活動助成金制度を一部改正しました。	変更 ①既存の市民活動助成金制度を見直しましたが、既存の市民活動助成金制度への1%市民活動支援制度の導入を見送りました。 ②1%市民活動支援制度を運用し、地域委員会など市民が行う地域づくり活動を支援するための新たな制度を検討しました。	検討 ①暫定的な制度により、モデル地区の地域づくり活動を支援しました。 ②個人市民税額の1%相当額を助成金総額とし、地域委員会など市民が行う地域づくり活動を支援するための新たな制度を検討しました。	検討 ①地域委員会活動を支援する交付金(1地区300万円を限度として15地区)総額4,500万円を、市民税1%相当分とみなし、市民が行う地域づくりを支援する制度を検討しました。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画に変更があります。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 企画政策課

マニフェストの番号	1-5-1		施策・事業の内容	市役所業務(窓口)の一部を市民パートナー(業務委託)に担ってもらい、人件費削減を図ります。
マニフェストの改革	1 市民主権、市民自治。	自分たちのことは自分たちで決める社会に。		
マニフェストの項目	直接参加 ~市民パートナー制度実施			
施策・事業名	市民パートナー事業			
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換	何を	窓口業務を
	分野	行財政改革	いつまでに	平成25年度から
	施策	行政改革大綱方策	どのようにする	実施可能な業務から委託していきます。
	事業	企画調整事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 窓口業務の外部委託について、内部検討及び他市の状況について調査・研究をしていきます。	協議 内部検討及び他市の状況を踏まえ、外部委託を実施する窓口業務を選定します。	実施 外部委託が可能な窓口業務から実施していきます。	実施 外部委託が可能な窓口業務から実施していきます。	実施 外部委託が可能な窓口業務から実施していきます。
	金額	0千円	0千円	782千円	804千円
変更計画					
実績	検討 水道業務(検針から徴収まで)について、外部委託の可能性について研究を行いました。	実施 市民課窓口を受付番号発券機と番号表示大型モニターを導入し、待ち時間の目安が分かるようにしました。 また、窓口案内係(1名)を配置し、証明書交付申請書の記入方法等のご案内や受付窓口への誘導を行うことで、窓口の混雑緩和対策を行いました。	実施 引き続き、市民課窓口案内係を配置し、年間を通じ窓口の混雑緩和対策を行いました。 (配置時期) ・繁忙期(3月、4月、5月中旬ごろ)は毎日 ・その他は、毎週明けの1日	実施 引き続き、市民課窓口案内係を配置し、年間を通じ窓口の混雑緩和対策を行いました。 (配置時期) ・繁忙期(3月、4月、5月中旬ごろ)は毎日 ・その他は、毎週明けの1日	0
	金額	0千円	97千円	782千円	722千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 秘書広報課


マニフェストの番号	1-6-1		施策・事業の内容	市民の声の届く市政を推進するため、市民との対話を通して、市政に対する意見や提言を聴きます。	
マニフェストの改革	1 市民主権、市民自治。 自分たちのことは自分たちで決める社会に。				
マニフェストの項目	市長との車座集会の開催(市内全地域)				
施策・事業名	車座集会の開催				
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換		何を	車座集会を
	分野	協働		いつまでに	
	施策	情報公開推進方策		どのようにする	開催します。
	事業	広報・広聴事業			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 各種団体やグループなどを単位とした市長との対話会を開催します。	実施 各種団体やグループなどを単位とした市長との対話会を開催します。	実施 各種団体やグループなどを単位とした市長との対話会を開催します。	実施 各種団体やグループなどを単位とした市長との対話会を開催します。	実施 各種団体やグループなどを単位とした市長との対話会を開催します。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画					
	金額				
実績	実施 平成23年度は、47回開催しました。	実施 平成24年度は、45回開催しました。	実施 平成25年度は、 「車座集会」を20回開催 (http://www.city.seki.lg.jp/0000004353.html) 「市長と語る会」を10回開催 (http://www.city.seki.lg.jp/0000004424.html) 詳細はホームページをご覧ください。	実施 平成26年度は、 「車座集会」を20回開催 「市長と語る会」を2回開催 しました。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 市民協働課

マニフェストの番号	1-7-1		施策・事業の内容	予算枠を配分します。
マニフェストの改革	1 市民主権、市民自治。 自分たちのことは自分たちで決める社会に。			
マニフェストの項目	地域事務所に一定程度の予算枠の配分			
施策・事業名	地域振興予算の創設			
総合計画における位置付け	政策	第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち	何を	地域振興予算枠を
	分野	地域振興	いつまでに	平成24年度までに
	施策	地域振興施策	どのようにする	地域事務所に配分します。
	事業	地域振興事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 ①地域課題とその解決に必要な予算について検討します。 ②配分方法を検討します。	実施 ①地域振興予算を適正に執行します。 ②振興予算の使途及び効果について検証し、次年度予算に反映します。	運用 ①地域振興予算を適正に執行します。 ②振興予算の使途及び効果について検証し、次年度予算に反映します。	運用 ①地域振興予算を適正に執行します。 ②振興予算の使途及び効果について検証し、次年度予算に反映します。	運用 ①地域振興予算を適正に執行します。 ②振興予算の使途及び効果について検証し、次年度予算に反映します。
	金額	0千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円
変更計画					
	金額				
実績	検討 ①地域課題とその解決に必要な予算について検討しました。 ②配分方法を検討し、予算に計上しました。 ③適正かつ効率的な予算執行ができるよう協議しました。	実施 ①地域振興予算を各地域事務所に配分し、適正に執行しました。 ②振興予算の使途及び効果について検証し、次年度予算に反映しました。	運用 ①地域振興予算を各地域事務所に配分し、適正に執行しました。 ②振興予算の使途及び効果について検証し、次年度予算に反映しました。 ※総額15,000千円…8割を均等割、2割を人口割で各地域事務所に配分 ※地域特有の課題及び緊急性のある課題に対する事業、地域の特色ある事業に充当	運用 ①地域振興予算を各地域事務所に配分し、適正に執行しました。 ②振興予算の使途及び効果について検証し、次年度予算に反映しました。 (総額15,000千円…8割を均等割、2割を人口割で各地域事務所に配分しました。) ③地域特有の課題及び緊急性のある課題に対する事業、地域の特色ある事業に充当しました。	0
	金額	0千円	13,785千円	13,762千円	14,021千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。

2 見える市政、届く声。

持続可能性があり、信頼される行政経営を。

番号	マニフェストの項目	施策・事業名	担当課	頁
2-1-1	財政健全化条例の制定	財政健全化条例の制定・中長期財政計画の策定	財政課	11
2-2-1	計画行政の推進	計画行政推進事業	企画政策課	12
2-3-1	職員の提案を活かす	職員提案事業の推進	職員課	13
2-4-1	市長の交際費を公開	市長交際費の公開	秘書広報課	14
2-5-1	入札改革	総合評価方式の拡充と一般競争入札の導入	契約検査課	15
2-6-1	ICT(情報通信技術／電子化)を活用した行政	ICT(情報通信技術／電子化)活用事業	企画政策課	16
2-7-1	事業見直しと総人件費の削減	事業見直しの実施	企画政策課	17
2-7-2	事業見直しと総人件費の削減	職員数削減事業	職員課	18

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 財政課

マニフェストの番号	2-1-1		施策・事業の内容 健全な財政運営のための市長の責務、わかりやすい財政指標の公表、中長期財政計画の策定などを規定した関市健全な財政運営に関する条例を制定し、健全財政の維持に努めます。 また、10年間の財政計画を策定し、公表します。	
マニフェストの改革	2	見える市政、届く声。 持続可能性があり、信頼される行政経営を。		
マニフェストの項目	財政健全化条例の制定			
施策・事業名	財政健全化条例の制定・中長期財政計画の策定			
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換	何を	関市の財政状況を
	分野	行財政改革	いつまでに	将来においても
	施策	財政運営方策	どのようにする	健全な状態で運営します。
	事業	財政運営事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 財政健全化条例(仮称)を制定するとともに、10年間の財政計画を策定し、公表します。	実施 財政健全化条例(仮称)を適正に運用し、健全財政の維持に努めます。	運用 財政健全化条例(仮称)を適正に運用し、健全財政の維持に努めます。	運用 財政健全化条例(仮称)を適正に運用し、健全財政の維持に努めます。	運用 財政健全化条例(仮称)を適正に運用し、健全財政の維持に努めます。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画	財政健全化条例(仮称)の制定に向けて、関係機関等と協議調整します。	関市財政の健全運営に関する条例を制定するとともに、10年間の財政計画を策定し、公表します。	関市健全な財政運営に関する条例を適正に運用するとともに、10年間の財政計画を策定し、公表します。	関市健全な財政運営に関する条例を適正に運用するとともに、10年間の財政計画を策定し、公表します。	関市健全な財政運営に関する条例を適正に運用するとともに、10年間の財政計画を策定し、公表します。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
実績	協議 平成24年関市議会第1回定例会に関市健全な財政運営に関する条例案(新規制定)を提出しましたが、継続審査となりました。	実施 平成24年関市議会第1回臨時会に関市健全な財政運営に関する条例案を提出、修正可決されました。 また、この条例に基づき、今後10年間の長期財政計画(平成25～34年度)を策定し、3月議会に報告するとともに、市民に広く公表しました。	運用 関市健全な財政運営に関する条例を適正に運用するとともに、今後10年間の長期財政計画(平成26～35年度)を策定し、12月議会に報告するとともに、市民に広く公表しました。 ホームページ (http://www.city.seki.lg.jp/0000004294.html)	運用 関市健全な財政運営に関する条例を適正に運用するとともに、今後10年間の長期財政計画(平成27～36年度)を策定し、12月議会に報告するとともに、市民に広く公表しました。 ホームページ (http://www.city.seki.lg.jp/0000004294.html)	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画より遅れがあります。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 企画政策課

マニフェストの番号	2-2-1		施策・事業の内容	市長任期である4年間の推進計画を作成し、総合計画、第5次行政改革大綱との整合性を図り、各計画を連動させて推進します。
マニフェストの改革	2 見える市政、届く声。 持続可能性があり、信頼される行政経営を。			
マニフェストの項目	計画行政の推進			
施策・事業名	計画行政推進事業			
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換	何を	市長マニフェスト推進計画を
	分野	行財政改革	いつまでに	平成23年度に
	施策	総合計画運用推進方策	どのようにする	策定し、計画実現に向けて進捗管理を行います。
	事業	総合計画運用事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 平成27年度までを計画期間とする市長マニフェスト推進計画を策定します。	運用 進捗管理を行います。	運用 進捗管理を行います。	運用 進捗管理を行います。	運用 進捗管理を行います。
	金額 0千円	金額 0千円	金額 0千円	金額 0千円	金額 0千円
変更計画					
実績	実施 平成27年度までを計画期間として、市長マニフェストを、どのように推進していくのかを明確にし「日本一しあわせなまち」関市にするための計画を策定しました。	運用 市ホームページで、各取組の進捗状況を公表しています。 計画より進んでいる 4事業 計画通り進んでいる 44事業 計画より遅れている 2事業 計画に変更がある 8事業 平成24年11月2日に開催された第7回市長マニフェスト大賞(首長部門)において、市長マニフェスト推進計画が優秀賞を受賞しました。	運用 市長マニフェスト推進計画の進捗状況 計画より進んでいる 4事業 計画通り進んでいる 45事業 計画より遅れている 2事業 計画に変更がある 6事業 計画が完了 1事業 市ホームページで、各取組の進捗状況を公表しています。 (http://www.city.seki.lg.jp/0000000222.html)	運用 市長マニフェスト推進計画の進捗状況 計画より進んでいる 4事業 計画通り進んでいる 49事業 計画より遅れている 1事業 計画に変更がある 3事業 計画が完了 1事業 計画が完了後継続 1事業 市ホームページで、各取組の進捗状況を公表しています。	金額 0
金額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 職員課



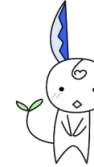

マニフェストの番号	2-3-1		施策・事業の内容 市役所職員提案事業を活かし、市民の暮らしが向上する先進的な取り組みを推進します。 また、職員の地域におけるボランティア活動等を推奨します。	
マニフェストの改革	2 見える市政、届く声。	持続可能性があり、信頼される行政経営を。		
マニフェストの項目	職員の提案を活かす			
施策・事業名	職員提案事業の推進			
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換	何を	職員提案を
	分野	行財政改革	いつまでに	平成25年度中に
	施策	行政改革大綱方策	どのようにする	随時募集する環境を整備して、市民の暮らしが向上する先進的な取り組みを推進します。
	事業	事務改善事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 職員提案を募集し、実施可能な取り組みから実施します。 また、職員による地域でのボランティア活動を推進します。	実施 職員提案を募集し、実施可能な取り組みから実施します。 また、職員による地域でのボランティア活動を推進します。	実施 職員提案を募集し、実施可能な取り組みから実施します。 また、職員による地域でのボランティア活動を推進します。	実施 職員提案を募集し、実施可能な取り組みから実施します。 また、職員による地域でのボランティア活動を推進します。	実施 職員提案を募集し、実施可能な取り組みから実施します。 また、職員による地域でのボランティア活動を推進します。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画					
	金額				
実績	実施 ・繁忙期における休日窓口開庁の提案があり、試行的に3月25日、4月1日に実施しました。 ・市が管理する住宅の担当課一本化の提案があり、関係課と検討をしています。 ・職員が現在どのようなボランティアに関わっているのか、どんなボランティアに興味を持っているのかなど現状を把握するためにアンケートを実施しました。	実施 ・「関市職員自主研究活動(ジシュ☆ケン)支援要綱」を施行し、市政に関する諸課題について自主的に研究活動を行う職員の自主研究グループを支援しました。 ・(市民協働課)1課1ボランティアの取組を開始し、各課で作成しました。 ・(総務管財課)年間を通じて各課で業務改善計画を作成し、取組を実施しました。	実施 ・関市職員自主研究活動支援要綱により、職員により構成された3つの自主研究グループ(メンバー延べ52人)を支援しました。 ・(市民協働課)1課1ボランティアの取組を継続し、各課が作成した計画に基づいた地域でのボランティア活動に取り組みました。 ・(総務管財課)年間を通じて各課で作成した業務改善計画に基づき、取組みました。	実施 ・関市職員自主研究活動支援要綱により、職員により構成された2つの自主研究グループ(メンバー延べ22人)を支援しました。 ・(市民協働課)1課1ボランティアの取組を継続し、各課が作成した計画に基づいた地域でのボランティア活動に取り組みました。 ・(総務管財課)年間を通じて各課で作成した業務改善計画に基づき、取組みました。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 秘書広報課

マニフェストの番号	2-4-1		施策・事業の内容	市長交際費を随時、関市のホームページで公開します。
マニフェストの改革	2 見える市政、届く声。	持続可能性があり、信頼される行政経営を。		
マニフェストの項目	市長の交際費を公開			
施策・事業名	市長交際費の公開			
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換	何を	市長交際費を
	分野	協働	いつまでに	随時
	施策	情報公開推進方策	どのようにする	関市のホームページで公開します。
	事業	広報・広聴事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 市長交際費を随時、関市のホームページで公開します。	運用 市長交際費を随時、関市のホームページで公開します。	運用 市長交際費を随時、関市のホームページで公開します。	運用 市長交際費を随時、関市のホームページで公開します。	運用 市長交際費を随時、関市のホームページで公開します。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画					
	金額	0			
実績	実施 市長交際費取り扱い基準を策定し、公開を実施しました。 市ホームページ「市長のページ」をご覧ください。	運用 市ホームページ「市長のページ」で公開中。	運用 市ホームページ「市長のページ」で公開中。 (http://www.city.seki.lg.jp/0000000366.html)	運用 市ホームページ「市長のページ」で公開中。 (http://www.city.seki.lg.jp/0000000366.html)	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 契約検査課




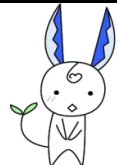
マニフェストの番号	2-5-1		施策・事業の内容	現在実施中の総合評価方式に地域貢献度を考慮する評価項目の拡充を図りながら、段階的に一般競争入札の導入を図ります。	
マニフェストの改革	2 見える市政、届く声。 持続可能性があり、信頼される行政経営を。				
マニフェストの項目	入札改革				
施策・事業名	総合評価方式の拡充と一般競争入札の導入				
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換		何を	入札方式及び、落札者決定方式を
	分野	行財政改革		いつまでに	平成26年度までに
	施策	公有財産管理適正推進方策		どのようにする	段階的に一般競争入札を採用し、価格・品質を確保しつつ地元企業が優先される制度として総合評価方式を実施します。
	事業	契約事業			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 一般競争入札導入に必要な条件整備の検討 運用基準の見直し	試行 運用基準の見直し 一般競争入札で対象工事の一部を試行的に実施します。	試行 運用基準の見直し 一般競争入札の試行を継続すると共に、本格導入に向けて検討を進めます。	実施 本格実施し、談合や入札に係る不正行為、競争性・透明性、品質の確保、さらには市内企業の活性化などの視点で検討し改善していきます。	実施 本格実施し、談合や入札に係る不正行為、競争性・透明性、品質の確保、さらには市内企業の活性化などの視点で検討し改善していきます。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画		一般競争入札を建設工事の一部で試行的に実施します。 総合評価方式は、評価項目の見直しを行い試行的に実施します。	公共工事における入札の競争性や透明性を確保するため、一般競争入札を試行的に導入します。また、併せて新たに契約管理システムを導入します。 総合評価方式は、一般競争入札により多様な業種で試行的に実施します。	公正で透明性・競争性の高い入札制度を確立するために、一般競争入札の試行を継続し、入札参加資格条件の見直しを図りながら段階的に拡大実施します。 公共工事の品質確保を図るため、総合評価一般競争入札の試行を継続し、適用工事の拡大に取り組みます。	公正で透明性・競争性の高い入札制度を確立するために、一般競争入札を継続し、入札参加資格条件などの見直しを図りながら実施します。 公共工事の品質確保を図るため、総合評価一般競争入札の試行を継続的に取り組みます。
	金額		0千円	3,250千円	2,000千円
実績	検討 一般競争入札及び総合評価方式を導入した自治体等を視察し、導入に向けての課題を整理し運用基準について検討を行いました。	変更 一般競争入札の事前の申請手続きを簡略化した事後審査型一般競争入札の試行的導入を決定し、運用基準を制定するとともに、関連事項の見直しを行いました。 総合評価方式は、評価項目に3項目(機械保有状況、ボランティア活動、市内企業の活用率)を追加するとともに、評価内容について見直しを行いました。	試行 事後審査型一般競争入札により、23件を試行的に実施しました。また、契約事務の効率化及び簡素化を図るため、契約管理システムを導入しました。 総合評価一般競争入札により、新しく建築工事を含め2件で実施しました。	実施 事後審査型一般競争入札により、新しく電気工事を追加し27件を実施しました。 総合評価一般競争入札により、新しく水道施設工事・ほ装工事を追加し4件を実施しました。	0
	金額	0千円	0千円	3,180千円	1,253千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 企画政策課


マニフェストの番号	2-6-1		施策・事業の内容	ICTのもつ利便性を活用して行政サービスの向上を目指します。
マニフェストの改革	2 見える市政、届く声。 持続可能性があり、信頼される行政経営を。			
マニフェストの項目	ICT(情報通信技術/電子化)を活用した行政			
施策・事業名	ICT(情報通信技術/電子化)活用事業			
総合計画における位置付け	政策	第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち	何を	ICTを活用した行政サービスを
	分野	情報通信	いつまでに	平成26年度までに
	施策	電子自治体構築促進施策	どのようにする	順次活用して、行政サービスの向上を目指します。
	事業	行政情報基盤整備運用事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 ICT(情報通信技術/電子化)を活用した行政を目指すための検討を行います。	協議 ICT(情報通信技術/電子化)を活用した行政を目指すため、関係機関や関係課と検討します。	検討 ICT(情報通信技術/電子化)を活用した行政を目指すため、導入可能なシステムは試行運用していきます。	検討 ICT(情報通信技術/電子化)を活用した行政を目指すため、導入可能なシステムは引き続き導入しながら、行政サービスの向上を目指します。	試行 ICT(情報通信技術/電子化)を活用した行政を目指すため、導入可能なシステムは引き続き導入しながら、行政サービスの向上を目指します。
	金額	0千円	0千円	30,000千円	10,000千円
変更計画			ICT(情報通信技術/電子化)を活用した行政を目指すため、関係機関や関係課と検討します。	ICT(情報通信技術/電子化)を活用した行政を目指すため、関係機関や関係課と検討します。	マイナンバー制度の実施時期に合わせ、具体的にICT技術を活用する事務の内容を決定します。
	金額		0千円	0千円	30,000円
実績	検討 ICT(情報通信技術/電子化)を活用した行政を目指すため、コンビニで住民票・印鑑証明書の交付が受けられるサービスについて、調査・研究を行いました。	変更 コンビニ交付について調査・検討をし、導入をH27.1のマイナンバー制度の実施時期に合わせることにしました。	検討 先進地事例の資料収集を行いました。	検討 先進地事例の資料収集を行いました。マイナンバー制度の実施時期に合わせ、検討しています。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 企画政策課





マニフェストの番号	2-7-1		施策・事業の内容	関市第4次総合計画後期基本計画を策定することに併せて事務事業の見直しを行い、持続可能な財政運営を目指します。		
マニフェストの改革	2 見える市政、届く声。	持続可能性があり、信頼される行政経営を。				
マニフェストの項目	事業見直しと総人件費の削減					
施策・事業名	事業見直しの実施		何を	事業見直しを		
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換			いつまでに	平成24年度までに
	分野	行財政改革				
	施策	行政評価推進方策				
	事業	総合計画運用事業・行政評価運用事業				
			どのようにする	関市第4次総合計画後期基本計画策定と併せて実施し、適正な管理を行います。		

区分	年度別内容					※ 計画及び実績の金額欄は、主な歳出・歳入の金額(単位:千円)			
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	金額	金額		
計画	検討	実施	運用	運用	運用				
	関市第4次総合計画前期基本計画における事務事業の検証を行政評価で実施します。	関市第4次総合計画後期基本計画を策定します。	関市第4次総合計画後期基本計画に基づき、各事務事業を推進します。進捗管理を行政評価で実施します。	関市第4次総合計画後期基本計画に基づき、各事務事業を推進します。進捗管理を行政評価で実施します。	関市第4次総合計画後期基本計画に基づき、各事務事業を推進します。進捗管理を行政評価で実施します。	0千円	1,000千円		
変更計画	関市第4次総合計画前期基本計画における事務事業の検証をおこなうための手法について研究します。								
実績	検討	実施	運用	運用	0				
	後期基本計画策定に向けて実施した市民アンケートの結果を基に、どの事業が関市において重要であるかを検証しました。その結果を踏まえ、現状の施策で良いのかについて検討し、事務事業の見直しを、平成24年度に行います。	前期基本計画の進捗状況を検証し、6政策38分野93施策11方策で構成する関市第4次総合計画後期基本計画を策定しました。 市民ニーズの把握や事業の見直しの参考にするなど等を目的として、市民アンケート調査(せきのまちづくり通信簿)を行いました。(平成25年1月) 配布数 3,000件 有効回収数 1,234件 回収率 41.1% まちづくりに対する総合評価 『満足』44.8% 幸福度の平均点 5.79点(10点を「とても幸せ」とする)	総合計画の効率的、効果的な推進のため、PDCAサイクル(Plan・Do・Check・Action)の考え方にに基づき、行政評価を実施し、ホームページ等で公表しました。 また、市民実感を把握し、施策に反映させることを目的として、市民アンケート調査(せきのまちづくり通信簿)を行いました。(平成26年1月) 配布数 3,000件 有効回収数 1,011件 回収率 33.7% まちづくりに対する総合評価 『満足』49.4% 幸福度の平均点 6.64点(10点を「とても幸せ」とする)	総合計画の効率的、効果的な推進のため、PDCAサイクル(Plan・Do・Check・Action)の考え方にに基づき、行政評価を実施し、ホームページ等で公表しました。 http://www.city.sekig.jp/0000008190.html また、市民実感を把握し、施策に反映させることを目的として、市民アンケート調査(せきのまちづくり通信簿)を行いました。(平成27年1月) 配布数 3,000件 有効回収数 1,206件 回収率 40.2% まちづくりに対する総合評価 『満足』48.3% 幸福度の平均点 6.81点(10点を「とても幸せ」とする)		0千円	693千円	809千円	990千円
進捗状況									
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。				

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 職員課

マニフェストの番号	2-7-2		施策・事業の内容	関市定員適正化計画により、職員数を削減します。
マニフェストの改革	2 見える市政、届く声。 持続可能性があり、信頼される行政経営を。			
マニフェストの項目	事業見直しと総人件費の削減			
施策・事業名	職員数削減事業			
総合計画における位置付け	政策	第6章 改革と協働 行政目線から市民目線、管理から経営への転換	何を	職員数を
	分野	行財政改革	いつまでに	平成27年4月1日までに
	施策	行政改革大綱方策	どのようにする	733人(平成22年4月1日現在比65人減)にします。
	事業	人事・給与管理事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	運用 平成24年4月1日現在の職員数を769人(平成22年4月1日現在比29人減)にします。	運用 平成25年4月1日現在の職員数を757人(平成22年4月1日現在比41人減)にします。	運用 平成26年4月1日現在の職員数を733人(平成22年4月1日現在比65人減)にします。	運用 平成27年4月1日現在の職員数を733人(平成22年4月1日現在比65人減)にします。	完了
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画					
	金額				
実績	運用 平成24年4月1日現在の職員数を761人(平成22年4月1日現在比37人減)にしました。	運用 平成25年4月1日現在の職員数を734人(平成22年4月1日現在比64人減)にしました。	運用 平成26年4月1日現在の職員数を713人(平成22年4月1日現在比85人減)にしました。	運用 平成27年4月1日現在の職員数を679人(平成22年4月1日現在比119人減)にしました。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画より進んでいます。	計画より進んでいます。	計画より進んでいます。	計画より進んでいます。	

3 子育て、教育、まちぐるみ。

未来の宝、子どもたちに投資します。

番号	マニフェストの項目	施策・事業名	担当課	頁
3-1-1	関市版「寺子屋」の設置	関市版「寺子屋」	学校教育課	21
3-2-1	託児機能・病児保育の機能の充実	託児機能の充実と病児保育の実施	子ども家庭課	22
3-3-1	わかあゆプラン(補助教員の配置)の拡大	わかあゆプラン(補助教員)の拡大	学校教育課	23
3-4-1	「朝読書」の拡大 ～読書教育の充実、「読み・書き・そろばん」の奨励	読書教育の充実	学校教育課	24
3-4-2	「朝読書」の拡大 ～読書教育の充実、「読み・書き・そろばん」の奨励	基礎学力向上事業	学校教育課	25
3-5-1	自分たちのまちを自慢しよう ～郷土教育・キャリア教育の充実	郷土教育・キャリア教育推進事業	学校教育課	26
3-6-1	留守家庭児童教室の充実、地域住民との連携	留守家庭児童教室整備・拡充事業	子ども家庭課	27
3-7-1	平等な教育を ～特別支援教育アシスタントの拡大	特別支援教育アシスタントの拡大	学校教育課	28
3-8-1	食べ残しゼロ運動 ～学校での自校炊飯と食育	自校炊飯の導入	学校教育課	29
3-9-1	一学ぶよるこびを ～大人の学び舎プログラム	地域づくり型生涯学習推進事業	生涯学習課	30

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 学校教育課

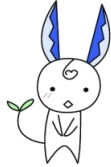
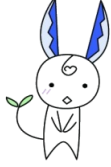

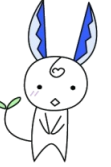
マニフェストの番号	3-1-1		施策・事業の内容	各小中学校区に設置された「共生学校づくり推進会議」を実施母体として、地域の著名人や専門家の方などをボランティア講師として学校に招聘し、児童生徒が「地域の自然や文化」「生き方」「専門性」などを学べる関市版「寺子屋」を開設します。
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。			
マニフェストの項目	関市版「寺子屋」の設置			
施策・事業名	関市版「寺子屋」			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	関市版「寺子屋」を
	分野	学校教育	いつまでに	平成26年度までに
	施策	義務教育充実施策	どのようにする	全小中学校に設置します。
	事業	共生学校づくり事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 「共生学校づくり推進委員会」や「小中学校長会」と関市版「寺子屋」の設置に向けて協議します。まなびセンターに、関市版「寺子屋」を担当する職員の配置を検討します。	試行 市内小中学校10校程度に、関市版「寺子屋」を設置します。設置した学校は、年間計画を立て開設します。「共生学校づくり推進委員会」で実践交流をします。	実施 計画の前倒しをして市内全小中学校に、関市版「寺子屋」を設置します。「共生学校づくり推進委員会」で実践交流をします。	運用 市内全小中学校に、関市版「寺子屋」を設置します。「共生学校づくり推進委員会」で実践交流をします。	運用 市内全小中学校に、関市版「寺子屋」を設置します。「共生学校づくり推進委員会」で実践交流をします。
	金額	0千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円
変更計画					
	金額				
実績	検討 関市版「寺子屋」の設置に向けて、「共生学校づくり推進委員会」や「小中学校長会」においてねらいや内容等を協議しました。地域の著名人や専門家の方などを講師として学校に招聘し、児童生徒が「地域の自然や文化」「生き方」「専門性」などを学べる関市版「寺子屋」を開設します。	試行 関市版「寺子屋」の設置に向けて、「共生学校づくり推進委員会」や各小中学校の「共生学校づくり推進会議」において、ねらいや内容等を協議しました。地域の著名人や専門家の方などを講師として学校に招聘し、児童生徒が「地域の自然や文化」「生き方」「専門性」などを学べる関市版「寺子屋」を小中学校24校で開設し、実施しました。	実施 関市版「寺子屋」の設置に向けて、「共生学校づくり推進委員会」や各小中学校の「共生学校づくり推進会議」において、ねらいや内容等を協議しました。地域の著名人や専門家の方などを講師として学校に招聘し、児童生徒が「地域の自然や文化」「生き方」「専門性」などを学べる関市版「寺子屋」を小中学校30校で開設し、実施しました。	運用 全小中学校で行う関市版「寺子屋」事業が軌道に乗り、学校教育課主催の「共生学校づくり推進委員会」や各小中学校ごとに実施する「共生学校づくり推進会議」において、ねらいや内容等を協議し、特色あるふるさとづくりのために工夫改善しています。地域の著名人や専門家の方などを講師として学校に招聘し、児童生徒が「地域の自然や文化」「生き方」「専門性」などを学んでいます。	0
	金額	0千円	2,380千円	3,000千円	3,000千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画より進んでいます。	計画より進んでいます。	計画より進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 子ども家庭課

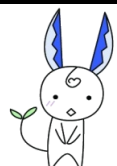
マニフェストの番号	3-2-1		施策・事業の内容	既存園での一時保育拡大運用若しくは、既存公共施設の託児施設への用途変更により実施。 民間病院等での病児保育の委託実施又は、既存公共施設内での病児保育の実施。
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。			
マニフェストの項目	託児機能・病児保育の機能の充実			
施策・事業名	託児機能の充実と病児保育の実施			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち	何を	託児機能・病児保育施設を
	分野	子育て	いつまでに	平成26年度までに
	施策	子育て施設整備推進施策	どのようにする	託児機能を保育園等で充実。病児保育を新たに実施します。
	事業	保育事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 託児可能な保育園等の洗い出しと、病児保育の委託先候補の医療機関等との調整。 既存公共施設での託児・病児保育の可能性検討	協議 託児の引受可能な法人等との、実施運営方法並びに費用負担の協議、試行のための予算計上、病児保育は委託か直営かの決定	実施 託児については1ヶ所で試行、病児保育については、実施運営方法の決定と、実施のための予算計上	運用 託児の実施と、更に1ヶ所での試行のための実施運営方法の決定と、予算計上、病児保育の実施	運用 託児2ヶ所、病児1ヶ所での運用
	金額	0千円	0千円	15,000千円	30,000千円
変更計画		・中濃厚生院内での病児保育所開設に向けて、実施運営方法並びに費用負担等についての協議を行います。 ・南ヶ丘保育園の空保育室での託児所開設に向けて、施設の改修及び引受可能な法人等の選定と実施運営方法等の協議を行います。	・平成25年4月2日中濃厚生院内に病児・病後児保育室「はもみん」を開設。 ・総合福祉会館内での託児サービス開始に向けて、実施運営方法並びに費用負担等について決定し、平成25年度の早い時期にサービスを開始します。	・病児・病後児保育室「はもみん」の運営。 ・託児ルーム「あゆっこ」の運営。 ・託児ルームが更に1カ所必要かどうかの検討を行います。	託児1ヶ所、病児2ヶ所での運用
	金額		0千円	28,444千円	23,695千円
実績	検討 ・市内医療機関での病児保育所開設の可能性について、中濃厚生事務局長、武儀医師会会長と協議を行いました。現時点では場所、資金面等での課題が多く困難であるとの回答を得ています。 ・託児については、南ヶ丘保育園の空保育室を利用する検討を行いましたが、現在、障がい児保育の個別対応で利用しているため、保育園での使用状況を勘案して再度検討を進めます。	協議 ・病児・病後児保育室については、中濃厚生院内で平成25年4月当初からの受入れを開始するための要綱整備を始め、受入れに係る事務手続きなどについて調整を重ね、25年4月に開設予定です。 ・託児サービスについては、南ヶ丘保育園から総合福祉会館内での開設に変更し、運営方法等についての検討を行い、25年度内にサービスが開始できるよう協議、調整を行い開設の目途をたてました。	実施 ・平成25年4月2日、中濃厚生院内に病児・病後児保育室「はもみん」を開設しました。25年度はのべ109人の利用がありました。 ・託児サービスについては、平成25年10月17日から総合福祉会館1階に、託児ルーム「あゆっこ」を開設しました。25年度は、5か月半でのべ241人の利用がありました。	運用 ・中濃厚生院内の病児・病後児保育室「はもみん」は、26年度にのべ202人の利用がありました。また、関中央病院内の病後児保育所「くるみ保育所」は、26年度にのべ48人の利用がありました。 ・総合福祉会館1階の託児ルーム「あゆっこ」は、26年度にのべ543人の利用がありました。 ・託児ルームが更に1カ所必要かどうかについては、「あゆっこ」の利用状況を当分の間観察のうえ、再検討します。	0
	金額	0千円	2,061千円	15,493千円	15,204千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 学校教育課

マニフェストの番号	3-3-1		施策・事業の内容	小学校4年生から6年生までの学級で、33人以上の学級が4学級以上の学校に対して、わかあゆ講師を配置します。 また、中学校1年生の学級で、33人以上の学級がある学校にわかあゆ講師を配置します。
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。			
マニフェストの項目	わかあゆプラン(補助教員の配置)の拡大			
施策・事業名	わかあゆプラン(補助教員)の拡大			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	わかあゆプラン(補助教員)を
	分野	学校教育	いつまでに	平成24年度から
	施策	義務教育充実施策	どのようにする	小学校4年生から中学校1年生まで拡大します。
	事業	わかあゆプラン事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 来年度の学級編成から、配置数及び運用方法を検討します。	実施 小学校1年生から3年生は、これまで同様に配置します。 小学校4年から6年生は、33人以上の学級が4学級以上の学校に1~2名配置します。 中学校1年生は、33人以上の学級がある学校に配置します。	運用 小学校1年生から3年生は、これまで同様に配置します。 小学校4年から6年生は、33人以上の学級が4学級以上の学校に1~2名配置します。 中学校1年生は、33人以上の学級がある学校に配置します。	運用 小学校1年生から3年生は、これまで同様に配置します。 小学校4年から6年生は、33人以上の学級が4学級以上の学校に1~2名配置します。 中学校1年生は、33人以上の学級がある学校に配置します。	運用 小学校1年生から3年生は、これまで同様に配置します。 小学校4年から6年生は、33人以上の学級が4学級以上の学校に1~2名配置します。 中学校1年生は、33人以上の学級がある学校に配置します。
	金額	0千円	50,750千円	50,750千円	50,750千円
変更計画	現況のわかあゆ配置基準(1,2,3年で33人以上の学級または複式学級等(県の非常講師がつかず、必要と認められるもの)に1名配置)により20名配置し、29,000千円の実績があります。				
	金額				
実績	検討 次年度より、小学校1年生から3年生は、これまで同様配置、また、小学校4年から6年生には、33人以上の学級が4学級以上の学校に1~2名配置。更に、中学校1年生は、33人以上の学級がある学校に配置するという方針を決定しました。	実施 ・小学校1年生から3年生に18名 ・小学校4年生から6年生に5名 ・複式学級解消のために4名 ・中学校1年生に2名の計29名配置しました。	運用 ・小学校1年生から3年生に10名 ・小学校4年生から6年生に5名 ・複式学級解消のために4名 ・中学校1年生に1名の計20名配置しました。	運用 ・小学校1年生から3年生に11名 ・小学校4年生から6年生に3名 ・複式学級解消のために5名 ・中学校1年生に1名の計20名配置しました。	0
	金額	28,000千円	50,131千円	39,476千円	34,605千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 学校教育課

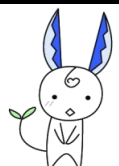
マニフェストの番号	3-4-1		施策・事業の内容	現在、各学校で実施されている朝読書や読書活動を一層推進させます。
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。			
マニフェストの項目	「朝読書」の拡大 ～読書教育の充実、「読み・書き・そろばん」の奨励			
施策・事業名	読書教育の充実			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	読書教育について
	分野	学校教育	いつまでに	平成26年度までに
	施策	義務教育充実施策	どのようにする	朝読書や読書活動など、読書教育を一層充実させます。
	事業	学校図書利用促進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 各小中学校における、読書教育の取り組みについて実態を把握し、推進のための具体案を作成します。	協議 読書教育推進委員会を立ち上げ、「関市子ども読書活動推進計画」をもとに、関市読書教育推進計画を作成します。	試行 関市読書教育推進計画をもとに、各学校で「読書教育年間計画」を作成し、実践します。読み聞かせボランティア研修会を開催します。 各学校の「読書教育年間計画」の実施状況から次年度の改善点を明らかにします。	実施 各学校において「読書教育年間計画」により、読書教育の充実を図ります。読み聞かせボランティア研修会を開催します。 各学校の「読書教育年間計画」の実施状況から次年度の改善点を明らかにします。	運用 各学校において「読書教育年間計画」により、読書教育の充実を図ります。読み聞かせボランティア研修会を開催します。 各学校の「読書教育年間計画」の実施状況から次年度の改善点を明らかにします。
	金額	0千円	0千円	100千円	100千円
変更計画					
金額					
実績	検討 各小中学校の読書教育の実態から、見直しをもった読書教育の推進計画を検討しました。「関市子どもの読書教育推進計画」をもとに「関市読書教育推進計画(案)」を作成しました。	協議 関市(学校)読書教育推進計画をもとに、各学校が学校図書館教育・読書活動を整理し、次年度からの「読書教育年間指導計画」を作成しました。	試行 関市読書教育推進計画をもとに、各学校で「読書教育年間計画」を作成し、実践しました。読み聞かせボランティア研修会を開催し、読み聞かせの指導技術の向上を図りました。	実施 関市読書教育推進計画をもとに、各学校で「読書教育年間計画」を作成し、実践しています。ファミリー読書発表会を開催し、家庭において読書活動を積極的に推進している親子の取組を広めました。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 学校教育課

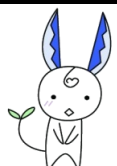
マニフェストの番号	3-4-2		施策・事業の内容 現在、各学校では、「朝の活動」や「授業」の中で計画的に漢字や計算、英単語など、基礎学力定着に向け取り組みがなされています。今後は、こうした学校の取り組みを一層推進させます。	
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。			
マニフェストの項目	「朝読書」の拡大 ～読書教育の充実、「読み・書き・そろばん」の奨励			
施策・事業名	基礎学力向上事業			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	基礎学力向上の取り組みを
	分野	学校教育	いつまでに	平成26年度までに
	施策	義務教育充実施策	どのようにする	定着させます。
	事業	学校各種教育事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	協議 各小中学校において、基礎学力についての実態を把握し、定着に向けての具体的な取り組みを定めます。	試行 学力・学習状況調査の結果などから、各学校において基礎学力定着に向けて、具体的な取り組みを定めます。また、定着度を数値で表すなど、評価の方法を明確にします。中学校英語部会の研究員が所属する学校を中心に、「語彙力テスト」を施行し、実施方法について検討します。	実施 学力・学習状況調査の結果などから、各学校において基礎学力定着に向けて、具体的な取り組みを定めます。また、定着度を数値で表すなど、評価の方法を明確にします。市内全中学校で、「語彙力テスト」を実施します。	実施 学力・学習状況調査の結果などから、各学校において基礎学力定着に向けて、具体的な取り組みを定めます。また、定着度を数値で表すなど、評価の方法を明確にします。市内全中学校で、「語彙力テスト」を実施します。	運用 学力・学習状況調査の結果などから、各学校において基礎学力定着に向けて、具体的な取り組みを定めます。また、定着度を数値で表すなど、評価の方法を明確にします。市内全中学校で、「語彙力テスト」を実施します。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画					
実績	試行 児童生徒の学習の状況を確認するために、全国学力・学習状況調査を希望校として10月に実施しました。そのデータを元に指導過程の工夫など改善の方向を各校でまとめ、取り組めることから改善を進めています。語彙力テストについては、1月に全中学校で実施し、英語の授業の指導改善に生かしました。	試行 児童生徒の学習の状況を確認するために、全国学力・学習状況調査を、抽出校に加え希望校として全小中学校で実施しました。そのデータをもとに学力の定着を確認し、指導過程の工夫など改善の方向を各校でまとめ、指導の改善を進めています。語彙力テストを1月に中学校で実施し、英語の指導改善に生かしました。また、計算マスターを作成し、小学校算数の指導に生かしました。	実施 児童生徒の学習の状況を確認するために、全国学力・学習状況調査を、全小中学校で実施しました。そのデータをもとに学力の定着を確認し、指導過程の工夫など改善の方向を各校でまとめ、指導の改善を進めています。語彙力テストを中学校で実施し、英語の指導改善に生かしました。また、計算マスターを作成し、小中学校算数・数学の指導に生かしました。	実施 児童生徒の学習の状況を確認するために、全国学力・学習状況調査や岐阜県学習状況調査を全小中学校で実施しました。そのデータをもとに学力の定着を確認し、指導過程の工夫など改善の方向を各校でまとめ、指導の改善を進めています。英語の語彙力テストを中学校で実施し、英語の指導改善に生かしています。また、計算マスターを作成し、小中学校算数・数学の指導に生かしています。	0
金額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況	 計画より進んでいます。	 計画通り進んでいます。	 計画通り進んでいます。	 計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 学校教育課

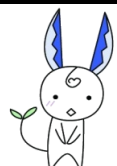



マニフェストの番号	3-5-1		施策・事業の内容 関市版「寺子屋」事業とタイアップさせ、郷土教育・キャリア教育を推進します。 また、本事業では、郷土学習の資料として使用している、副読本「伸びゆくまち関市」「関市歴史地図年表」を改訂し、授業での活用を図ります。	
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。			
マニフェストの項目	自分たちのまちを自慢しよう ～郷土教育・キャリア教育の充実			
施策・事業名	郷土教育・キャリア教育推進事業			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	郷土学習資料(副読本)「伸びゆくまち関市」「関市歴史地図年表」の改訂と指導用資料の作成を
	分野	学校教育	いつまでに	平成26年度までに行い、平成27年度から
	施策	義務教育充実施策	どのようにする	全小中学校で郷土学習資料を使った授業を実施します。
	事業	教育研究事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 郷土学習資料(副読本)「伸びゆくまち関市」「関市歴史地図年表」の改訂と指導資料作成の計画を立てます。	協議 郷土学習資料の改訂と指導資料作成のため、改訂委員会を開催します。また、編集作業については、業者に委託します。	協議 郷土学習資料の改訂と指導資料作成のため、改訂委員会を開催します。また、編集作業については、業者に委託します。	協議 郷土学習資料の改訂と指導資料作成のため、改訂委員会を開催します。また、編集作業については、業者に委託します。	運用 改訂された郷土学習資料と指導資料を使って、各小中学校で授業が開始されます。
	金額	0千円	3,150千円	3,150千円	4,200千円
変更計画					
	金額				
実績	検討 郷土学習資料(副読本)「伸びゆくまち関市」「関市歴史地図年表」の改訂と指導資料作成の計画を立てました。27年度からの実施に向け平成24～26年の3カ年計画で見直しに取り組みます。	試行 27年度からの全面実施に向け「伸びゆくまち関市」(完全リニューアル版)を平成24～26年の3カ年計画で研究委員会(小社部会)を立ち上げ、業者選定を行い、編集作業に入りました。また、現行版「伸びゆくまち関市」「関市歴史地図年表」の内容の見直し(部分改訂)も行いました。	試行 27年度からの全面実施に向け「伸びゆくまち関市」(完全リニューアル版)を平成24～26年の3カ年計画で研究委員会(小社部会)を立ち上げています。編集作業がほぼ完了しました。また、現行版「伸びゆくまち関市」「関市歴史地図年表」の内容の見直し(部分改訂)も行いました。	試行 平成24～26年の3カ年計画で研究委員会(小社部会)を立ち上げ、「伸びゆくまち関市」(完全リニューアル版)の編集作業を行いました。その編集作業が完了し、27年度から小学校4年生児童全員が完全リニューアル版を使用できる運びとなりました。また、現行版「伸びゆくまち関市」「関市歴史地図年表」の内容の見直し(部分改訂)も行いました。	0
	金額	0千円	3,150千円	3,150千円	4,200千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 子ども家庭課


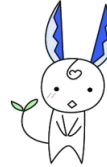
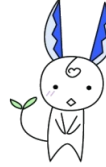
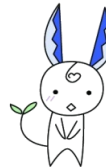
マニフェストの番号	3-6-1		施策・事業の内容	留守家庭児童教室の利用者(子ども・保護者)の視点にたった量的・質的な整備・拡充を図ります。		
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。					
マニフェストの項目	留守家庭児童教室の充実、地域住民との連携					
施策・事業名	留守家庭児童教室整備・拡充事業		何を	留守家庭児童教室の対象学年を		
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち			いつまでに	平成27年度までに
	分野	子育て				
	施策	子育て施設整備推進施策				
	事業	子育て支援事業				
どのようにする			全教室で小学校6年生まで延長します。			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 留守家庭児童教室利用保護者を対象にアンケート調査を実施し、対象学年の延長等について保護者の意向を把握します。	試行 まずは4年生が全教室において入室できるようにします。 定員(スペース)に余裕のある9教室で試行で4年生を入室していますが、残り9教室において小学校と協議しながら追加の教室(スペース)が確保できる教室から長期休業期間(夏休み等)を含め、順次4年生の入室を実施していきます。	試行 まずは4年生が全教室において入室できるようにします。 定員(スペース)に余裕のある9教室で試行で4年生を入室していますが、残り9教室において小学校と協議しながら追加の教室(スペース)が確保できる教室から長期休業期間(夏休み等)を含め、順次4年生の入室を実施していきます。	実施 18小学校全ての留守家庭児童教室で追加教室の確保を完了させ、4年生の入室を可能にします。同時に条例等の改正を行います。 また、平成27年度から実施する5・6年生の利用者を募集します。	運用 18小学校の留守家庭児童教室において1～6年生までの利用希望者全員の入室を可能とし、待機児童をゼロとします。
	金額	0千円	12,000千円	12,000千円	24,000千円
変更計画			・全教室での常時小学校4年生受入れをめざし、受入れ未実施の8教室においても4年生の受入れを開始します。また、長期休業期間(夏休み等)の4年生の受入れについては、昨年度同様、全教室で実施します。	・17教室においては4年生を常時受入れ、1教室においては、長期休業期間(夏休み等)のみ4年生受入れを実施します。また、希望者が少ない教室については、6年生までの受入れを行います。 ・平成27年度からの実施について、利用時間や使用料の見直しなどを行い、条例を改正します。	・留守家庭児童教室は、全教室1～4年生までの利用とし、待機児童をゼロとします。希望者の少ない教室については、6年生までの受け入れを継続します。 ・利用時間や使用料を変更し、実施します。
	金額			60,805千円	60,139千円
実績	検討 ・留守家庭児童教室を利用している保護者を対象にアンケート調査を実施しました。 実施日 11月7日 調査対象 約530人 回収数 414人(回収率 78.1%) ・調査結果による保護者の意向 入室対象学年は、第4学年まで(長期休業期間のみを含む)が59.2%を占め、第5・6学年までを含めると全体の82.8%の保護者が希望している結果を得ています。	試行 ・全教室での4年生受入れをめざし、現在未実施の9教室において小学校及び教育委員会と追加教室(スペース)の確保について協議検討を重ねた結果、平成25年度からの4年生受入れが概ね可能となりました。また、本年度は長期休業期間(夏休み等)に全教室で4年生の受入れを実施しました。	試行 ・全18教室のうち、17教室において4年生までの受入れを実施しました。そのうち、希望者が20名にも満たない7教室については、5年生までの受入れを試行しました。スペースが確保できず、4年生の受入れが出来なかった1教室については、長期休業期間(夏休み等)のみ4年生の受入れを実施しました。	実施 ・全18教室のうち、17教室において4年生までの受入れを実施しました。そのうち、希望者が20名にも満たない7教室については、6年生までの受入れを試行しました。スペースが確保できず、4年生の受入れが出来なかった1教室については、長期休業期間(夏休み等)のみ4年生の受入れを実施しました。 ・平成27年度からの実施に向けて、条例改正し、利用時間や使用料を見直しました。	0
	金額	0千円	54,641千円	57,786千円	58,600千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 学校教育課

マニフェストの番号	3-7-1		施策・事業の内容	特別支援教育アシスタントの配置に関わる内規を見直し、配置数を増員します。
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。			
マニフェストの項目	平等な教育を ～特別支援教育アシスタントの拡大			
施策・事業名	特別支援教育アシスタントの拡大			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	特別支援教育アシスタントを
	分野	学校教育	いつまでに	平成24年度から
	施策	義務教育充実施策	どのようにする	「アシスタント配置内規」を見直し、配置数を増員します。
	事業	特別支援・ふれあい教室事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	協議 各学校の配置要望を踏まえ、適正就学の方向性を損なわない範囲で、特別支援教育アシスタントの配置人数を増やします。	実施 アシスタントについては、次の内規により配置しています。 ①該当する特別支援学級が学校に設置されていない場合 ②障がいの判定が難しく「経過観察」が必要な場合 ③特別支援学級の在籍児童生徒が多く配慮が必要な場合 ④健康管理上配慮を必要とする場合 ⑤学校が支援を必要とした場合 このうち、⑤の配置人数を増やします。	運用 学校が支援を必要とした児童生徒について、適正就学の観点で学校と協議し、配置していきます。	運用 学校が支援を必要とした児童生徒について、適正就学の観点で学校と協議し、配置していきます。	運用 学校が支援を必要とした児童生徒について、適正就学の観点で学校と協議し、配置していきます。
	金額	30,436千円	43,496千円	45,882千円	45,882千円
変更計画					
実績	協議 小学校38名、中学校4名の特別支援教育アシスタントを配置済みですが、各学校の配置要望を受け、内規と照らし合わせて検討した結果、特別支援教育アシスタントの配置人数を増員することが決定しました。	実施 各学校の配置要望を受け、小学校53名、中学校5名を配置しました。また、学校の授業日数を考慮して、勤務規程の勤務日数を180日以内から190日以内に変更しました。	運用 各学校の配置要望を受け、小学校54名、中学校6名を配置しました。 昨年度、勤務規程の勤務日数を180日以内から190日以内に変更しましたので、より充実した支援ができるようになっています。	運用 各学校の配置要望を受け、小学校56名、中学校6名を配置しました。 校内での活動が中心ですが、場合によっては校外活動における支援も行い、より充実した支援ができるようになっています。	0
金額	30,436千円	38,952千円	45,600千円	44,542千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 学校教育課

マニフェストの番号	3-8-1		施策・事業の内容	学校給食で、子どもたちに炊きたてのご飯を提供するため、家庭用の炊飯器による自校炊飯の導入を検討します。 また、地元産米を学校給食に使うことで、地元産米の利用拡大を図ります。
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。			
マニフェストの項目	食べ残しゼロ運動 ～学校での自校炊飯と食育			
施策・事業名	自校炊飯の導入			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	炊きたてご飯の提供と地元産米の利用拡大のための自校炊飯を
	分野	学校教育	いつまでに	平成27年度にかけて
	施策	安心な学校生活推進施策	どのようにする	市内各小中学校で実施するよう検討します。
	事業	学校保健事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 自校炊飯導入の課題を洗い出します。 ・衛生的な保管、管理 ・安定した米の提供 ・施設、設備、人件費 ・保護者の負担 など	検討 課題解決に向けて検討します。 また、炊きたてご飯(温かいご飯)の提供と地元産米の利用拡大の観点から、代替案も検討します。	廃止 課題解決に向けて検討します。 また、炊きたてご飯(温かいご飯)の提供と地元産米の利用拡大の観点から、代替案も検討します。		
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画			施設や設備などの整備が困難なため、実施を廃止します。		
	金額				
実績	検討 自校炊飯導入の課題を洗い出しました。現在の状況、実施に向けての課題(衛生的な保管、管理、安定した米の提供、施設、設備、人件費、保護者の負担など)を検討し、設備や人件費に多額の費用を要することを確認しました。	検討 検討の結果、施設や設備などの整備が困難なため、実施を廃止することにしました。	廃止 自校炊飯については、導入を見送ることにしましたが、現在の学校給食体制にて、全校で県内産の米を使用して、児童生徒が温かいご飯を食べることができるようになっています。	0	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画に変更があります。		

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 生涯学習課

マニフェストの番号	3-9-1		施策・事業の内容	地域づくり型生涯学習を推進します。
マニフェストの改革	3 子育て、教育、まちぐるみ。 未来の宝、子どもたちに投資します。			
マニフェストの項目	一生涯学ぶよろこびを ～大人の学び舎プログラム			
施策・事業名	地域づくり型生涯学習推進事業			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	学習メニューを
	分野	生涯学習	いつまでに	平成25年度までに
	施策	生涯学習充実施策	どのようにする	計画し、運用します。
	事業	生涯学習推進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討	協議	運用	運用	運用
	地域づくり型生涯学習の啓発と推進に向けて検討します。	講座メニュー・実施体制を協議します。	講座を開設します。	地域づくりに繋がりがつつあるかを検討し、必要であれば講座内容を見直します。	地域づくりに繋がりがつつあるかを検討し、必要であれば講座内容を見直します。
金額	0千円	0千円	130千円	130千円	130千円
変更計画			地域づくりに繋がりがつつあるかを検討し、必要であれば講座内容を見直します。平成24年度に実施した「学びによる地域づくり活動デビュー講座」のステップアップとして、岐阜県長期人材養成事業「学びによる地域づくり活動実践講座」を実施します。	地域づくり型生涯学習のさらなる推進のため、地域の大学と連携して講座を開設し、実年世代の地域デビューのきっかけとなるような講座を開設します。	引き続き、地域づくり型生涯学習を推進するため、地域づくりに繋がりがつつあるかを検討し、必要であれば講座内容を見直します。また、大学連携講座を充実し、さらなる人材の養成に努めます。
	金額		200千円	728千円	728千円
実績	検討	実施	運用	運用	0
	地域づくり型生涯学習の啓発と推進に向けて検討し、講座メニュー及び実施体制として、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の社会人公開事業「まちづくりリーダー養成講座」並びに岐阜県短期人材育成事業「学びによる地域づくり活動デビュー講座」を計画しました。	ネットワーク大学コンソーシアム岐阜の社会人公開授業「まちづくりリーダー養成講座」を21人、岐阜県短期人材育成事業である「学びによる地域づくり活動デビュー講座」を31人が受講し、身近な地域課題解決のための計画や方策を立案する手法を学びました。	前年に引き続き、「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜」のリーダー養成講座を10人が受講し、まちづくりの中心となるリーダー養成を行いました。また、前年の受講生が中心となり、そのステップアップ講座として岐阜県長期人材養成事業「学びによる地域づくり活動実践講座」を受講し、地域の課題解決にむけて実践しました。	引き続き、「ネットワーク大学コンソーシアム岐阜」のリーダー養成講座を7人が受講。また、中部学院大学と連携し、実年世代の地域デビューのきっかけとなるような講座を新たに開設し(受講生19人)、地域づくりを担う人材の養成をさらに行いました。	
金額	0千円	105千円	230千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画より進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

4 弱者にやさしいまち環境。

意味ある医療・福祉・まち整備を計画。

番号	マニフェストの項目	施策・事業名	担当課	頁
4-1-1	予防医療の推進	特定健康診査及び人間ドック受診率向上	国保年金課	33
4-1-2	予防医療の推進	健診の普及、健診率の向上と充実	保健センター	34、35
4-2-1	上下水道の老朽化管の取り換え	上水道耐震事業	水道課	36
4-2-2	上下水道の老朽化管の取り換え	公共下水道事業	下水道課	37
4-3-1	高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち	公民センター・地域集会場の改修	総務管財課	38
4-3-2	高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち	高齢者福祉施設整備事業(施設・居住系サービスの充実)	高齢福祉課	39
4-4-1	市街地の公園の整備、公園への駐車場整備	公園整備事業・公園安全安心事業	都市整備課	40
4-5-1	災害への備え	消防団車庫耐震化事業	危機管理課	41
4-5-2	災害への備え	公民センター・地域集会場の耐震補強事業	総務管財課	42
4-5-3	災害への備え	公立保育園の耐震化事業	子ども家庭課	43
4-5-4	災害への備え	学校耐震化事業	教育総務課	44
4-6-1	道路網の整備	高速道路の整備促進事業	建設総務課	45
4-6-2	道路網の整備	国道整備促進事業	建設総務課	46
4-6-3	道路網の整備	東山西田原線整備事業	土木課	47
4-6-4	道路網の整備	西本郷一ツ山線第2工区整備事業	都市整備課	48
4-7-1	団塊・シルバー世代への「生きがい応援プラン(仮称)」の充実	高齢者がいきいきと活動するための支援	高齢福祉課	49
4-8-1	救急医療体制の整備、かかりつけ医・かかりつけ薬局の推奨	誰もが安心できる医療体制	保健センター	50、51
4-9-1	スポーツの奨励	健康スポーツの普及	保健センター	52
4-9-2	スポーツの奨励	市民健康ウォーキング	スポーツ推進課	53

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 国保年金課

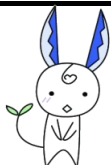

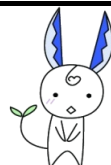
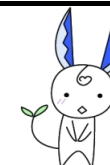
マニフェストの番号	4-1-1		施策・事業の内容	特定健診受診率向上のための対策を実施します。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	予防医療の推進			
施策・事業名	特定健康診査及び人間ドック受診率向上			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち	何を	人間ドック受診を
	分野	健康・医療	いつまでに	平成25年度までに
	施策	早期発見早期治療促進施策	どのようにする	現在、受診資格が40歳までの対象を、国保資格者全員対象とします。
	事業	健康相談事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 国保健診料助成要綱改正を行います。	運用 運用を実施します。	運用 受診者の受診率向上に努めます。 普及啓発を行います。	運用 受診者の受診率向上に努めます。 普及啓発を行います。	運用 受診者の受診率向上に努めます。 普及啓発を行います。
	金額 890千円	4,590千円	4,590千円	4,590千円	4,590千円
変更計画		運用を実施します。 コールセンターの活用を行います。	受診者の受診率向上に努めます。 普及啓発を行います。 コールセンターの活用を行います。	受診者の受診率向上に努めます。 普及啓発を行います。 コールセンターの活用を行います。	受診者の受診率向上に努めます。 普及啓発を行います。 コールセンターの活用を行います。
	金額	4,590千円	8,210千円	8,211千円	10,577千円
実績	実施 国保健診料助成要綱改正を行いました。 主な改正点は、40歳未満の受診者を対象にしていた人間ドック助成の年齢要件を無くし、40歳以上の受診者は結果通知を提出することで助成対象としました。	運用 人間ドック受診料の助成について、年齢要件を無くしました。40歳以上の受診者は、健診結果の提出により、特定健診を受診したこととみなし、受診率に反映させています。 また、未受診者対策で、コールセンターを活用し、未受診者8,812人に対し、電話による受診勧奨を行いました。 受診率は、26.1%(H23年度)から28.4%(H25.4.1現在)に上昇しました。	運用 人間ドック受診者で40歳以上は、健診結果の提出により、特定健診を受診したこととみなし、受診率に反映させています。 (人間ドック対象者件数 238件) また、未受診者対策で、コールセンターを活用し、未受診者8,743人に対し、電話による受診勧奨を行いました。 受診率は、29.9%(H26.5.1現在)	運用 受診啓発については、広報・ホームページの活用、情報誌「きらら」への広告掲載や市のイベントを活用して行い、受診率向上に努めました。未受診者に対しては、コールセンターによる電話勧奨及びハガキによる勧奨通知を行いました。また、人間ドックの受診者に対しては224件の助成を行い、40歳以上の受診者については特定健診の受診者とみなし、受診率に反映させました。受診率は、速報値で30.0%(H27.4.22現在)	0
	金額	485千円	2,990千円	6,245千円	5,795千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 保健センター


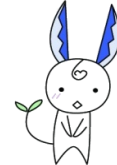

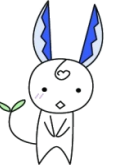
マニフェストの番号	4-1-2		施策・事業の内容	各種健診の広報・普及を進め、がん検診・各種健康診査の健診率の向上と充実を図っていきます。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	予防医療の推進			
施策・事業名	健診の普及、健診率の向上と充実			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手をとりあい、いきいき暮らせるまち	何を	各健診の受診者を
	分野	健康・医療	いつまでに	毎年
	施策	早期発見早期治療促進施策	どのようにする	増やしていきます。
	事業	健診推進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 広報、パンフレット等による受診勧誘・啓発を行います。 啓発・勧誘内容の検討協議を行います。	実施 広報、ポスター、パンフレット等による健診案内と啓発を行います。 市安心メールでの健診案内、コールセンターからの受診勧誘、ネット及び携帯電話による受診申込み受付を導入します。	実施 広報・ポスター・パンフレット、市あんしんメール等による健診案内と啓発、コールセンターからの受診勧誘、ネット及び携帯電話による受診申込み受付を行います。健診の受診状況の実態や未受診理由を調査し、受けやすい健診方法を検討します。	実施 広報・ポスター・パンフレット、市あんしんメール等による健診案内と啓発、コールセンターからの受診勧誘、ネット及び携帯電話による受診申込み受付を行います。	実施 広報・ポスター・パンフレット、市あんしんメール等による健診案内と啓発、コールセンターからの受診勧誘、ネット及び携帯電話による受診申込み受付を行います。
金額	157,598千円	164,761千円	193,800千円	220,600千円	248,200千円
変更計画				広報・ポスター・パンフレット、市あんしんメール等による健診案内と啓発、コールセンターからの受診勧誘、ネット及び携帯電話による受診申込み受付を行います。 また、検診が受けやすい環境を整えます。 健診結果管理が効率的に行えるように健診管理システムの更新を行います。	
金額				185,620千円	
実績	実施 広報やパンフレット等による受診勧誘・啓発を行うとともに、新たな啓発を検討し次の実施しました。 ・桃太郎旗の設置による受診の啓発 ・企業経営者に対する健診推奨の案内 ・関市検診受診券と特定健診受診券の発送を同じ月に行い、セットでの受診をしやすいしました。 ・健診結果について、健診結果の説明時にあわせて特定保健指導等を行うよう結果返却方法を見直したことで保健指導利用者が増加し、早期治療と予防に繋げるようになりました。また、毎年の受診に繋げるため受診者には市内温泉券の配布を行いました。 また、今後の受診者増を図るため、次のアンケートを実施し、来年度以降の啓発・勧誘に活かすよう検討協議しました。 ・健診対象者への未受診理由 ・企業での健診内容と助成等についてのアンケート	実施 広報、ポスター、パンフレット等による健診案内と啓発を行いました。また、市あんしんメールでの健診案内、コールセンターからの受診勧誘、ネット及び携帯電話による受診申込み受付を導入しました。 <受診者数> 胃がん検診2,946人 大腸がん検診6,970人 肺がん検診9,211人 子宮がん検診3,880人 乳がん検診3,883人	実施 広報・ポスター・パンフレット、市あんしんメール等による健診案内と啓発や、地域説明会でのがん検診受診啓発、コールセンターからの受診勧誘、ネット及び携帯電話による受診申込み受付を行いました。 また、健診の受診状況の実態や未受診理由を調査し、受けやすい健診方法を検討しました。 <受診者数> 胃がん検診3,162人 大腸がん検診7,632人 肺がん検診9,966人 子宮がん検診4,172人 乳がん検診4,253人	実施 広報・ポスター・パンフレット、市あんしんメール等による健診案内と啓発や、地域説明会やイベント会場でのがん検診受診啓発、コールセンターからの受診勧誘、ネット及び携帯電話による受診申込み受付を行いました。 女性特有がんについて、市外医療機関を拡充し、胃がんリスク検診を導入しました。 また、WindowXPサポート終了に伴い、健康管理を効果的・効率的に推進するシステム「新健康管理システム」を導入しました。 <受診者数> 胃がん検診2,912人 大腸がん検診7,659人 肺がん検診9,861人 子宮がん検診4,022人 乳がん検診4,256人 胃がんリスク検診1,043人	0
金額	157,598千円	164,761千円	161,346千円	167,155千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 保健センター




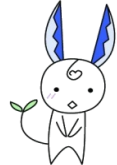
マニフェストの番号	4-1-2		施策・事業の内容	各種健診の広報・普及を進め、がん検診・各種健康診査の健診率の向上と充実を図っていきます。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。	意味ある医療・福祉・まち整備を計画。		
マニフェストの項目	予防医療の推進			
施策・事業名	健診の普及、健診率の向上と充実		何をいつまでにどのようにする	PET/CT検査、MRI検査を平成27年度にかけて調査研究、検討協議します。
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手をとりあい、いきいき暮らせるまち		
	分野	健康・医療		
	施策	早期発見早期治療促進施策		
	事業	健診推進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 健康診査におけるPET/CT検査とMRI検査の市内病院への導入について、調査研究及び検討協議を進めます。	実施 健康診査におけるPET/CT検査とMRI検査の市内病院への導入について、調査研究及び検討協議を進めます。	実施 健康診査におけるPET/CT検査とMRI検査の市内病院への導入について、調査研究及び検討協議を進めます。	実施 健康診査におけるPET/CT検査とMRI検査の市内病院への導入について、調査研究及び検討協議を進めます。	実施 健康診査におけるPET/CT検査とMRI検査の市内病院への導入について、調査研究及び検討協議を進めます。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画				中濃厚生病院の改修事業に合わせて、PETを導入するよう10年間で補助金400,000千円を交付して支援します。	中濃厚生病院の改修事業に合わせて、PETを導入するよう10年間で補助金400,000千円を交付して支援します。(2年目)
	金額			40,000千円	40,000千円
実績	実施 健康診査におけるPET/CT検査とMRI検査の導入について、市内総合病院での今後の導入について調査研究及び検討協議を進めています。	実施 健康診査におけるPET/CT検査とMRI検査の導入について、市内総合病院での今後の導入について調査研究及び検討協議を進めています。	実施 健康診査におけるPET/CT検査を、中濃厚生病院の増床改修事業に合わせて財政支援することにより導入するよう協議をしています。	実施 中濃厚生病院の改修事業に合わせてPETを平成28年度末までに導入することとし、10年間で補助金400,000千円を交付するよう協定を締結しました。	0
	金額	0千円	0千円	40,000千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 水道課




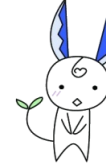
マニフェストの番号	4-2-1		施策・事業の内容	耐用年数を経過した老朽管を計画的に更新し、水道管の耐震化を進めます。	
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。				
マニフェストの項目	上下水道の老朽化管の取り換え				
施策・事業名	上水道耐震事業		何を	老朽化した水道管を	
総合計画における位置付け	政策	第4章 人と地球が共生できる安全・安心で快適なまち			
	分野	水道			
	施策	水道水安定供給施策			
	事業	上水道施設整備事業			
どのようにする			いつまでに	継続的に	
			どのようにする	東海、東南海、南海連動型地震に備え、管路の地震対策事業を行います。 また、この事業を継続させるための料金改定を行います。	

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	協議 ・上下水道使用料金の改定について、上下水道経営審議会で調整、協議を進めます。 ・老朽管の管種、口径を把握します。 ・事業費を把握します。	実施 ・上水道料金の改定を行い、老朽管更新資金を確保します。 ・水道耐震化計画を策定します。 ・事業費を調整します。	運用 ・送配水管を更新します。 L=6.6Km	運用 ・送配水管を更新します。 L=6.6Km	運用 ・送配水管を更新します。 L=6.6Km
	金額	5,413千円	0千円	420,000千円	420,000千円
変更計画			・送配水管を更新します。 L=3.1Km	・送配水管を更新します。 L=6.8Km	・送配水管を更新します。 L=5.3Km 繰り越し分1.1km分を完成させます。
	金額		233,500千円	431,000千円	274,400千円
実績	協議 ・上下水道使用料金の改定について、安心・安定した水を供給するため上下水道経営審議会から答申が出され 1 老朽管等の更新事業に必要な費用の一部を賄うため、水道使用料を平均19.9%引き上げる改定をすること。 2 費用負担の公平性をより明確にするため、現行の用途別使用料体系を口径別使用料体系に改めること。 とあり、この答申を受けて、上下水道料金の見直しを行います。 ・耐用年数を経過した水道管を計画的に更新し、水道管の耐震化を進めるための水道耐震化計画を策定するため、35年以上経過した老朽管の管種、口径を把握しました。	実施 ・10月の検針分から改定した水道料金となりました。 ・関市水道施設耐震化計画基本方針を策定しました。	運用 ・送配水管更新延長 L=4.8km	運用 ・送配水管更新延長 L=5.7km ・送配水管更新 L=1.1kmの工事は既設埋設管との調整に時間を要したため、次年度に繰り越しました。	0
	金額	4,948千円	5,796千円	210,250千円	376,498千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 下水道課




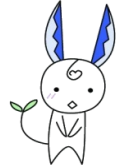
マニフェストの番号	4-2-2		施策・事業の内容	下水道長寿命化計画の策定を行います。 下水道長寿命化計画に基づき、計画的に管路、処理場の改修を行います。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	上下水道の老朽化管の取り換え			
施策・事業名	公共下水道事業			
総合計画における位置付け	政策	第4章 人と地球が共生できる安全・安心で快適なまち	何を	下水道施設の長寿命化計画を
	分野	下水道	いつまでに	平成25年度までに
	施策	下水道整備推進施策	どのようにする	策定し、計画に基づいた改修を順次行います。
	事業	公共下水道事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	協議 補助事業化に向けて県と協議します。	実施 下水道施設の長寿命化基本計画(管路、処理場)を策定します。	実施 下水道施設の長寿命化実施計画(管路、処理場)を作成します。	運用 下水道施設の長寿命化計画(管路、処理場)に基づき詳細設計を実施します。	運用 下水道施設の長寿命化計画(管路、処理場)に基づき改修工事を実施します。
	金額	0千円	28,245千円	35,000千円	38,000千円
変更計画					
	金額				
実績	協議 長寿命化計画の策定業務を補助事業で執行するために県と協議し、次年度で実施できるよう要望しました。	実施 下水道施設の長寿命化基本計画(管路、処理場)を策定しました。	実施 下水道施設の長寿命化計画(管路、処理場)を策定しました。	運用 下水道施設の長寿命化計画(管路、処理場)に基づき詳細設計を実施しました。	0
	金額	0千円	18,480千円	19,760千円	27,540千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 総務管財課


マニフェストの番号	4-3-1		施策・事業の内容	玄関スロープの設置・トイレの洋式化
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち			
施策・事業名	公民センター・地域集会場の改修			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手をとりあい、いきいき暮らせるまち	何を	公民センター・集会場を
	分野	コミュニティ	いつまでに	年次計画に従い
	施策	地域力強化施策	どのようにする	バリアフリー化します。
	事業	公民センター管理事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 ① 玄関スロープ設置 1館 ② トイレの洋式化 2館	実施 ① 玄関スロープ設置 3館 ② トイレの洋式化 3館	実施 ① 玄関スロープ設置 3館 ② トイレの洋式化 3館	実施 ① 玄関スロープ設置 3館 ② トイレの洋式化 3館	実施 ① 玄関スロープ設置 3館 ② トイレの洋式化 3館
	金額	4,000千円	7,200千円	7,200千円	7,200千円
変更計画		①玄関スロープ設置 3館 ②トイレの洋式化 4館	①玄関スロープ設置 2館 ②トイレの洋式化 4館	①玄関スロープ設置 2館 ※ その他、改修工事に伴う既設スロープの付け替え(1館) ②トイレの洋式化 2館 ※ その他、耐震補強工事に伴うトイレの洋式化(1館)	耐震補強工事、大規模改修に伴うバリアフリー化 ①玄関スロープ設置 1館 ②トイレの洋式化 3館
	金額		11,200千円	10,200千円	10,600千円
実績	実施 ①中之保多々羅集会場に玄関スロープを設置しました。 ②2館(中之保多々羅集会場、中之保若栗集会場)のトイレを洋式にしました。	実施 ①桜台東公民センター、天神公民センターに玄関スロープを設置、西切公民センタースロープを改修しました。 ②大平台公民センター、西切公民センター、洞戸通元寺集会場、板取門原集会場のトイレを洋式にしました。	実施 ①玄関スロープの設置 ・桜台西公民センター ・元重公民センター ②トイレの洋式化 ・千疋北公民センター ・堅仙房公民センター ・保戸島公民センター ・洞戸下菅谷集会場 ・中之保間吹集会場	実施 耐震補強工事、大規模改修に伴い、バリアフリー化を実施 ①玄関スロープの設置 ・前山公民センター既設スロープの改良 ・1館は要望により、スロープ以外の改修に計画変更しました。 ②トイレの洋式化 ・洞戸飛瀬集会場・富岡公民センター ・安桜中央公民センター	0
	金額	1,438千円	8,321千円	17,790千円	
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 高齢福祉課

マニフェストの番号	4-3-2		施策・事業の内容	高齢者の生活ニーズに応じた福祉サービス提供施設の整備を第5期介護保険事業・老人福祉計画(24~26年度)に基づき、促進していきます。		
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。					
マニフェストの項目	高齢者・障がい者が安心して暮らせるまち					
施策・事業名	高齢者福祉施設整備事業(施設・居住系サービスの充実)		何を	特別養護老人ホームやグループホームなど的高齢者福祉施設を		
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち			いつまでに	平成26年度(第5期介護保険事業計画・老人福祉計画の計画期間)までに
	分野	高齢者				
	施策	高齢者福祉施設整備促進施策				
	事業	介護サービス事業者支援事業				
どのようにする				各小学校区を基本に、一施設の施設整備ができるように促進していきます。		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 ・第5期介護保険事業・老人福祉計画を策定します。 ・第4期介護保険事業・老人福祉計画に基づく、施設整備の支援を行います。 グループホームの新設(はなえみ) グループホーム・小規模多機能施設の新設(だいのの花、ほほえみごっこ) 特別養護老人ホームあかつきの増床、養護老人ホームあかつきの新設	実施 ・第5期介護保険事業・老人福祉計画に基づく、施設整備の支援を行います。 地域密着型のグループホーム、小規模特別養護老人ホームの設置促進	実施 ・第5期介護保険事業・老人福祉計画に基づく、施設整備の支援を行います。 地域密着型のグループホーム、小規模特別養護老人ホームの設置促進 ・第6期介護保険事業計画・老人福祉計画の基礎資料を得るため高齢者等実態調査を実施します。	実施 ・第5期介護保険事業・老人福祉計画に基づく、施設整備の支援を行います。 地域密着型のグループホーム、小規模特別養護老人ホームの設置促進 ・第6期介護保険事業・老人福祉計画を策定します。	実施 ・第6期介護保険事業計画・老人福祉計画に基づく、整備計画を推進します。
	金額	277,000千円	127,000千円	127,000千円	5,866千円
変更計画					
	金額				
実績	実施 ・第5期介護保険事業・老人福祉計画の策定を行いました。 ・第4期介護保険事業・老人福祉計画に基づく、施設整備の支援を行い、一部施設を除き開設しました。 グループホームの新設(はなえみ)の支援を行いました。 グループホーム・小規模多機能施設の新設(だいのの花、ほほえみごっこ)の支援を行いました。 特別養護老人ホームあかつきの増床、養護老人ホームあかつきの新設の支援を行いました。	実施 ・第4期介護保険事業・老人福祉計画に基づく、施設整備の支援を行い、グループホーム3ヶ所(小規模多機能併設2ヶ所)開設しました。 グループホームの新設(愛の家グループホーム関倉知)の支援を行いました。 小規模特別養護老人ホームの新設(ハートシティ平成の杜)の支援を行いました。	実施 ・第5期介護保険事業・老人福祉計画に基づく、施設整備の支援を行い、平成24年度に着手した小規模特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護(認知症対応型共同生活介護)が開所しました。また、今年度新たに複合福祉施設(地域密着型の介護老人保健施設・認知症対応型デイサービス)と介護老人福祉施設が完成し、4月から開所しました。 ・高齢者等実態調査を実施しました。	実施 ・第5期介護保険事業・老人福祉計画に基づく、施設整備の支援を行いました。 ・第6期介護保険事業・老人福祉計画を策定しました。	0
	金額	250,000千円	102,400千円	89,472千円	3,181千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 都市整備課

マニフェストの番号		4-4-1			施策・事業の内容 公園を再整備し、公園としての機能を向上させます。また、都市公園のバリアフリー化を進め、高齢者や障がい者の方々を含め、誰もが快適に利用できる公園の整備を行います。	
マニフェストの改革		4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。				
マニフェストの項目		市街地の公園の整備、公園への駐車場整備				
施策・事業名		公園整備事業・公園安全安心事業				
総合計画における位置付け	政策	第4章 人と地球が共生できる安全・安心で快適なまち			何を	市内公園を
	分野	景観・緑化・公園			いつまでに	平成27年度までに
	施策	公園整備推進施策			どのようにする	再整備します。
	事業	公園整備事業				
区分	年度別内容				※ 計画及び実績の金額欄は、主な歳出・歳入の金額(単位:千円)	
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
計画	実施 ①桜台中央公園 ②福野公園 ③向山第4公園 ④柳町公園 の整備を公園安全安心事業で実施します。	実施 ①一本木公園 ②貸上公園 ③前山第2公園 の整備を公園安全安心事業で実施します。	実施 川端公園を再整備します。	実施 南ヶ丘公園を再整備します。	実施 泉ヶ丘公園を再整備します。	
	金額	62,060千円	55,000千円	20,015千円	20,015千円	20,015千円
変更計画						
	金額					
実績	実施 ①桜台中央公園 ②福野公園 ③向山第4公園 ④柳町公園 のバリアフリー化、遊具の更新、及びトイレの建替えを公園安全安心事業で実施しました。	実施 ①一本木公園 ②貸上公園 ③前山第2公園 のバリアフリー化、遊具の更新及び①と②の公園のトイレの建替えを公園安全安心事業で実施しました。	実施 川端公園のバリアフリー化、遊具の更新と園路の整備及びトイレの建て替えと東屋の新設を実施しました。	実施 南ヶ丘公園のバリアフリー化、遊具の更新と園路の整備及びトイレの建て替えと東屋の新設を実施しました。	0	
	金額	61,645千円	42,224千円	26,455千円	20,911千円	0千円
進捗状況						
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。		

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 危機管理課




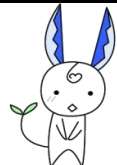
マニフェストの番号	4-5-1		施策・事業の内容	地域を守る消防団の万全な体制作りとともに、耐震基準を満たしていない消防団車庫の耐震化工事、及び、老朽化が激しい車庫については建替を進めていきます。	
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。				
マニフェストの項目	災害への備え				
施策・事業名	消防団車庫耐震化事業				
総合計画における位置付け	政策	第4章 人と地球が共生できる安全・安心で快適なまち		何を	消防団車庫の耐震化を
	分野	防災・防犯		いつまでに	平成25年度までに
	施策	消防力強化促進施策		どのようにする	計画を策定し、着手します。
	事業	消防施設管理整備事業			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 ①新耐震基準を定めた建築基準法の制定以前(昭和56年6月以前)に建てられた消防団施設について、耐震化診断を行います。	実施 ①消防団施設の統廃合や組織の見直し等、消防団の再編計画を作成します。 ②再編計画と並行して、必要な消防団施設の耐震化及び建替計画を作成します。	実施 ①消防団再編計画に準じ、消防団の再編を進めます。 ②消防団再編計画に準じ、必要な消防団施設の耐震化及び建替計画を作成し、着手します。	実施 ①消防団施設の耐震化計画に準じ、必要な消防団施設の耐震化及び建替を進めます。	実施 ①消防団施設の耐震化計画に準じ、必要な消防団施設の耐震化及び建替を進めます。
	金額	5,250千円	34,823千円	50,000千円	86,737千円
変更計画			①消防団再編計画を完成させ、消防団の再編を進めます。 ②消防団再編計画に準じ、必要な消防団施設の耐震化及び建替計画を作成し、着手します。		
	金額		50,000千円		
実績	検討 耐震診断業務の第1段階として、新耐震基準制定以前および建築年不明の建物(48棟)の予備調査を行った結果、 ①耐震診断を行う必要のない建物(耐震基準を満たしている建物)9棟 ②耐震診断を行い耐震化を行う余地のある建物(耐震化により継続使用可能な建物)30棟 ③耐震診断を行うまでもなく建て替えが望ましい建物(建物の更新)9棟 の3つに分類しました。	実施 ①再編計画の一環で、全消防団員へのアンケートおよびヒアリング、市民アンケートを実施し意見を聴取しました。 再編計画については、各地域での住民説明会を行うため、期間を延長し、平成25年6月末の完成を目指します。 ②再編計画の作成と並行して、耐震性能に問題がある消防団施設のうち、今後も必要な建物2棟(粟野車庫と大杉車庫)の建て替え設計を先行しました。全体的な耐震・建替計画は、消防団再編計画と同様、平成25年6月末の完成を目指します。	実施 ①消防団再編計画が完成したため、再編計画に基づき、消防団の再編を進めます。 ②消防団の車庫・詰所の耐震化及び建替を2棟実施しました。また、翌年度建替え整備を予定している2棟の設計を行いました。	実施 ①消防団の車庫・詰所の耐震化及び建替を3棟実施しました。また、翌年度整備を予定している4棟の設計を行いました。	0
	金額	3,537千円	3,077千円	36,240千円	62,433千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 総務管財課

マニフェストの番号	4-5-2		施策・事業の内容	耐震補強工事
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	災害への備え			
施策・事業名	公民センター・地域集会場の耐震補強事業			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手をとりあい、いきいき暮らせるまち	何を	公民センター・地区集会場を
	分野	コミュニティ	いつまでに	年次計画に従い
	施策	地域力強化施策	どのようにする	耐震補強工事を行います。
	事業	公民センター管理事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 耐震補強工事 5館	実施 耐震補強工事 3館	実施 耐震補強工事 4館	実施 耐震補強工事 4館	実施 耐震補強工事 4館
	金額 100,000千円	金額 60,000千円	金額 80,000千円	金額 80,000千円	金額 80,000千円
変更計画				耐震補強工事 3館 ※平成26年度に耐震補強工事を実施予定の公民センターの内、1館については耐震補強の必要性がないことが判明し、施設改修のみ実施	耐震補強工事 4館
				金額 60,000千円	金額 70,000千円
実績	実施 5館(西部公民センター、南部公民センター、平賀公民センター、新田公民センター、巾公民センター)の耐震補強工事を実施しました。	実施 3館(東部公民センター、桜ヶ丘公民センター、松ヶ洞公民センター)の耐震補強工事を実施しました。	実施 4館(柳町公民センター、雄飛ヶ丘公民センター、旭公民センター、重竹公民センター)の耐震補強工事を実施しました。	実施 3館(富岡公民センター、安桜中央公民センター、寺田公民センター)の耐震補強工事を実施しました。	0
	金額 73,049千円	金額 58,359千円	金額 50,709千円	金額 57,890千円	金額 0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 子ども家庭課

マニフェストの番号	4-5-3		施策・事業の内容	耐震性に問題のある、公立6園について4年計画で耐震工事・建替工事で、公立全保育園の耐震化を完了します。	
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。				
マニフェストの項目	災害への備え				
施策・事業名	公立保育園の耐震化事業				
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち		何を	全公立保育園の耐震化を
	分野	子育て		いつまでに	平成26年度までに
	施策	子育て施設整備推進施策		どのようにする	完了します。
	事業	保育所整備事業			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 富岡保育園の耐震工事完了と田原保育園の耐震実施計画及び板取めばえ保育園の改築実施設計の実施	変更 田原保育園の耐震工事完了と板取めばえ保育園の改築完了及び富野保育園実施設計の実施・西部保育園の耐震補強計画及び実施設計の実施	変更 富野保育園及び西部保育園の耐震工事完了・南ヶ丘保育園の耐震補強計画及び実施設計の実施	実施 南ヶ丘保育園の耐震工事完了 これによりすべての公立保育園の耐震化完了	実施
金額	124,193千円	341,733千円	250,273千円	86,653千円	
変更計画		・田原保育園の耐震工事完了と板取めばえ保育園の新築を完了します。 ・富野保育園、西部保育園の耐震補強計画は耐震改修工事と新築工事の両者で再検討を行います。また、南ヶ丘保育園についても同様に再検討を行います。	・耐震改修工事と新築工事の両者で再検討を行った結果により整備を進めます。 ・富野保育園耐震補強工事を完了します。 ・西部保育園耐震改修工事を行うための地質調査及び実施設計を行います。 ・南ヶ丘保育園耐震補強工事を行うための補強計画を実施します。 ・板取めばえ保育園の整備について、関係機関と協議検討を行い実施設計を行います。	・西部保育園耐震新築工事を行うための地質調査及び実施設計を行います。 ・板取めばえ保育園改修工事を行います。	・板取めばえ保育園調理室部分(繰越)を完了します。 ・南ヶ丘保育園耐震改修工事を行うための地質調査及び実施設計を行います。(平成28年度耐震改修工事完了) ・西部保育園耐震新築工事を完了します。
金額		333,333千円	113,899千円	84,864千円	356,968千円
実績	実施 ・富岡保育園耐震補強工事を完了しました。 ・田原保育園耐震補強計画・実施設計を完了しました。 ・板取めばえ保育園新築設計を完了しました。	実施 ・田原保育園の耐震工事を完了しました。 ・板取めばえ保育園は新築整備から既存施設を活用した保育園整備へと計画の変更を行い、関係機関と協議検討を進めました。 ・富野、西部、南ヶ丘保育園の耐震補強計画は既存施設の改修工事を行うことに決定し、本年度は富野保育園の耐震補強実施設計と西部保育園の耐震補強計画を完了しました。	実施 ・富野保育園の耐震工事を完了しました。 ・南ヶ丘保育園耐震補強計画を完了しました。 ・板取めばえ保育園の整備について、関係機関と協議検討を行い実施設計の契約を締結しました。(繰越事業) ・西部保育園耐震工事について、補強工事と新築工事を比較検討した結果、掛かる経費に差がないことから、新築工事を行うことに変更決定しました。	実施 ・西部保育園耐震新築工事を行うための地質調査及び実施設計を完了しました。 ・板取めばえ保育園改修工事を一部完了(調理室部分繰越)しました。	0
金額	132,381千円	153,489千円	133,085千円	94,228千円	0千円
進捗状況	 計画通り進んでいます。	 計画に変更があります。	 計画に変更があります。	 計画に変更があります。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 教育総務課




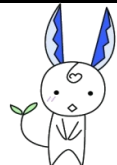
マニフェストの番号	4-5-4		施策・事業の内容	小・中学校施設の耐震化を推進します。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	災害への備え			
施策・事業名	学校耐震化事業			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	小・中学校施設の耐震化を
	分野	学校教育	いつまでに	平成26年度までに
	施策	義務教育施設整備推進施策	どのようにする	完了します。
	事業	学校耐震化・改築事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 計画的に市内の小・中学校施設を耐震化します。 旭ヶ丘小学校校舎、金竜小学校校舎、富野中学校校舎、武芸川中学校校舎、上之保中学校校舎	実施 計画的に市内の小・中学校施設を耐震化します。 旭ヶ丘小学校校舎、富岡小学校校舎、下有知小学校校舎、桜ヶ丘小学校校舎、武儀東小学校校舎、緑ヶ丘中学校校舎、下有知中学校校舎、武芸川中学校校舎	実施 計画的に市内の小・中学校施設を耐震化します。 旭ヶ丘小学校校舎、下有知小学校校舎・屋体、博愛小学校校舎、上之保小学校校舎、緑ヶ丘中学校校舎、洞戸中学校校舎、上之保中学校校舎	実施 計画的に市内の小・中学校施設を耐震化します。 緑ヶ丘中学校校舎	完了
	金額	1,436,024千円	1,294,520千円	1,310,923千円	330,000千円
変更計画				緑ヶ丘中学校校舎を耐震化(改築)します。 倉知小学校屋内運動場を改築します。 小・中学校屋内運動場の非構造部材を耐震化します。 寺尾小学校屋体 旭ヶ丘中学校屋体、武芸川中学校屋体	小・中学校屋内運動場の非構造部材を耐震化します。 (小学校) 安桜小、桜ヶ丘小、瀬尻小、南ヶ丘小、富岡小、田原小、富野小、金竜小、洞戸小、板取小、博愛小、武芸小、武儀東小、武儀西小、上之保小 (中学校) 緑ヶ丘中、桜ヶ丘中、下有知中、富野中、小金田中、洞戸中、武儀中、上之保中
	金額			1,263,812千円	140,890千円
実績	実施 計画に従い、次の施設の耐震化を実現しました。 旭ヶ丘小学校校舎、金竜小学校校舎、富野中学校校舎、武芸川中学校校舎、上之保中学校校舎	実施 計画に従い、次の施設の耐震化を実現しました。 旭ヶ丘小学校校舎、富岡小学校校舎、下有知小学校校舎、桜ヶ丘小学校校舎、武儀東小学校校舎、緑ヶ丘中学校校舎、下有知中学校校舎、武芸川中学校校舎	実施 計画に従い、次の施設の耐震化を実現しました。 (小学校) 旭ヶ丘小学校校舎、下有知小学校校舎・屋体、博愛小学校校舎、上之保小学校校舎 (中学校) 緑ヶ丘中学校校舎、洞戸中学校校舎、上之保中学校校舎	実施 計画に従い、次の施設の耐震化を実現しました。 ・改築 倉知小学校屋内運動場、緑ヶ丘中学校北舎 ・非構造部材 寺尾小学校屋体、旭ヶ丘中学校屋体、武芸川中学校屋体	0
	金額	1,374,078千円	1,273,478千円	1,522,544千円	1,103,883千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 建設総務課


マニフェストの番号	4-6-1		施策・事業の内容	東海環状自動車道西回りルート of 早期整備を促進します。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。	意味ある医療・福祉・まち整備を計画。		
マニフェストの項目	道路網の整備			
施策・事業名	高速道路の整備促進事業			
総合計画における位置付け	政策	第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち	何を	東海環状自動車道西回りルートを
	分野	道路	いつまでに	平成33年3月末までに
	施策	道路整備促進施策	どのようにする	西回り区間のうち、関～養老までの延長約44kmの供用を開始します。
	事業	道路整備促進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 事業主体の国に対し、用地取得を要望します。	実施 事業主体の国に協力し、用地取得を進めていきます。	実施 事業主体の国に協力し、用地取得を進めていきます。	実施 事業主体の国に対し、工事の推進を要望します。	実施 事業主体の国に対し、工事の推進を要望します。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画					
	金額				
実績	実施 国に対し、早期整備を要望し、用地買収が着手されました。	実施 用地取得を行っています。	実施 用地取得を行っています。また、工事が着手されました。	実施 用地所得を進めています。また、橋脚下部工の一部工事が完了しました。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画より進んでいます。	計画より進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 建設総務課

マニフェストの番号	4-6-2		施策・事業の内容	国道156号東バイパス第3工区の早期整備を促進します。 国道248号バイパスの早期整備を促進します。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。	意味ある医療・福祉・まち整備を計画。		
マニフェストの項目	道路網の整備			
施策・事業名	国道整備促進事業		何をいつまでにどのようにする	国道248号バイパス及び国道156号岐阜東バイパス第3工区を 国道248号バイパスに関しては、平成24年度までに、また、国道156号東バイパス第3工区 (岐阜市日野～関市山田の約6.7km)に関しては、早期に 国道248号バイパスは、供用開始を要望します。 国道156号東バイパスは、事業促進を要望します。
総合計画における位置付け	政策	第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち		
	分野	道路		
	施策	道路整備促進施策		
	事業	道路整備促進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 事業主体の国・県と協同して次の事業を推進します。 ①国道248号バイパス ・工事の推進を要望します。 ②国道156号東バイパス第3工区 ・暫定交差点改良に向け現況測量地質調査が行われます。	実施 事業主体の国・県と協同して次の事業を推進します。 ①国道248号バイパス ・工事の推進、供用開始を要望します。 ②国道156号東バイパス第3工区 ・暫定交差点改良の用地幅杭の打設を要望します。	実施 事業主体の国と協同して次の事業を推進します。 ①国道248号バイパス ・4車線化を要望します。 ②国道156号東バイパス第3工区 ・暫定交差点改良の用地取得を要望します。	実施 事業主体の国と協同して次の事業を推進します。 ①国道248号バイパス ・4車線化を要望します。 ②国道156号東バイパス第3工区 ・暫定交差点改良の用地取得を要望します。	実施 事業主体の国と協同して次の事業を推進します。 ①国道248号バイパス ・4車線化を要望します。 ②国道156号東バイパス第3工区 ・暫定交差点改良の用地取得を要望します。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画					
	金額				
実績	実施 ①国道248号バイパス ・推進の要望を行い、早期完成に向け工事が行われています。 ②国道156号東バイパス第3工区 ・現況測量及び地質調査が実施されました。	実施 ①国道248号バイパス ・平成24年9月5日に供用開始されました。 ②国道156号東バイパス第3工区 ・用地の幅杭打設、境界立会が実施されました。	実施 ①国道248号バイパス ・4車線化を要望しました。調査・設計が行われています。 ②国道156号東バイパス第3工区 ・用地取得が着手されました。	実施 ①国道248号バイパス ・4車線化を要望しました。 ・一部工事が着手されています。 ②国道156号東バイパス第3工区 ・用地取得を継続しています。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 土木課

マニフェストの番号	4-6-3		施策・事業の内容	国道418号線肥田瀬信号交差点から旧国道248号線旧パワーズ西までを、延長710m道路幅16m(2車線・両側歩道)で整備します。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	道路網の整備			
施策・事業名	東山西田原線整備事業			
総合計画における位置付け	政策	第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち	何を	市道東山西田原線を
	分野	道路	いつまでに	平成28年度までに
	施策	市道整備推進施策	どのようにする	整備し、供用開始します。
	事業	東山西田原線整備事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 用地交渉を進めます。	実施 用地交渉を進め、一部区間において工事を行います。	実施 用地交渉を進め、一部区間において工事を行います。	実施 用地交渉を進め、一部区間において工事を行います。	実施 用地交渉を進め、一部区間において工事を行います。
	金額 24,000千円	120,000千円	200,000千円	200,000千円	200,000千円
変更計画			用地交渉を進め、一部区間において工事を行います。	用地交渉を進め、工事を行います。	全線開通をめざします。
			122,000千円	75,933千円	284,600千円
実績	実施 国からの交付金が当初見込みより少なく、事業費ベースで予定の半分程度の用地買収を行いました。 ・用地買収面積 138㎡ ・補償件数 2件	実施 国のH24補正(緊急経済対策)により、事業が安定的に進んでいます。 ・用地買収面積 6,316㎡ ・補償件数 6件 ・工事 旧R248沿い及びR418南側を工事着手	実施 国のH24補正(緊急経済対策)により、事業が安定的に進んでいます。 ・用地買収面積 3,000㎡ ・補償件数 6件 ・工事 R418南側から長良川鉄道までの間で工事実施	実施 補償件数 1件 ・工事 R418南側から長良川鉄道までの間で工事実施 L=399.4m	0
	金額 10,160千円	130,819千円	271,185千円	71,978千円	0千円
進捗状況					
	計画より遅れがあります。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 都市整備課

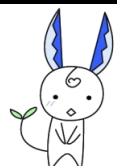


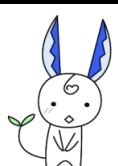
マニフェストの番号	4-6-4		施策・事業の内容	国道418号線交差部から国道248号線までの交通路整備を進めます。	
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。				
マニフェストの項目	道路網の整備				
施策・事業名	西本郷一ツ山線第2工区整備事業		何をいつまでにどのようにする	国道418号線交差部から国道248号線までの交通路整備を完了します。	
総合計画における位置付け	政策	第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち			
	分野	道路			
	施策	市道整備推進施策			
	事業	西本郷一ツ山線第2工区整備事業			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	協議 ①鉄道管理者や公安委員会との協議を進めます。 ②協議完了後、踏切実施設計を委託します。	実施 道路の詳細設計、用地測量、補償調査を行います。	実施 用地買収、移転補償を行います。	実施 ①用地買収、移転補償を行い、 ②道路整備工事を実施します。	0 ①道路整備工事を完了します。 ②踏切工事を委託します。
	金額	15,704千円	10,200千円	55,000千円	181,400千円
変更計画		①都市計画の変更をします。 ②鉄道管理者や公安委員会との協議を整えます。 ③道路の詳細設計、用地測量、補償調査を行います。	①鉄道管理者や公安委員会などの協議を整えます。 ②都市計画の変更をします。 ③道路の詳細設計、踏切実施設計、用地測量、補償調査を行います。 ④一部、用地買収、移転補償を行います。		①連動踏切認可申請書作成業務委託及び認可申請を行います。 ②用地買収及び移転補償を行います。
	金額		9,659千円	156,095千円	158,050千円
実績	協議 ①新設する交差点や踏切の形状などについて、鉄道管理者や公安委員会との協議の過程で、都市計画の変更が必要となり、交差点や踏切の具体的協議に至りませんでした。 ②踏切実施設計を委託しました(設計中)が、上記の遅れに伴い、設計作業の継続が必要となりました。	協議 ①②新設する交差点や踏切について、鉄道管理者や公安委員会、中部運輸局などとの協議を継続しており、都市計画の変更まで至りませんでした。 ③道路の詳細設計は完了しました。一部、用地測量、補償調査を行いました。	協議 ①②③新設する交差点や踏切について、鉄道管理者や公安委員会、中部運輸局などとの協議を継続しており、鉄道カント(軌道敷きの片勾配による段差)の変更を行う検討も行っておりますが、都市計画の変更まで至りませんでした。 ④一部用地買収と移転補償を行いました。	協議 都市計画の変更を行いました。道路修正設計、連動踏切横断工の設計を行いました。また、用地測量及び移転補償調査を行いました。移転補償調査については次年度に繰越しております。	0
	金額	13,808千円	4,484千円	67,164千円	16,005千円
進捗状況					
	計画より遅れがあります。	計画より遅れがあります。	計画より遅れがあります。	計画より遅れがあります。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 高齢福祉課

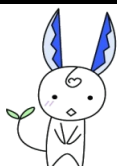
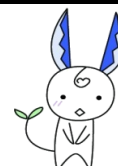


マニフェストの番号	4-7-1		施策・事業の内容	高齢者が地域や社会の中で役割を担い、積極的に社会貢献するように、就労支援を中心に社会参加のできる機会や場所をつくります。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	団塊・シルバー世代への「生きがい応援プラン(仮称)」の充実			
施策・事業名	高齢者がいきいきと活動するための支援			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち	何を	高齢者の就労やボランティア活動を
	分野	高齢者	いつまでに	第5期介護保険事業計画・老人福祉計画の計画期間中に
	施策	高齢者自立促進施策	どのようにする	積極的に社会参加等ができるような環境を整備していきます。
	事業	元気な高齢者事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 1. 高齢者の就労、ボランティア活動を促進します。 (1)シルバー人材センターとの連携と高齢者の就労・雇用促進 (2)老人クラブの活性化と高齢者ボランティアの促進 (3)多世代交流・地域交流の促進(宅老所の事前調査)	検討 1. 高齢者の就労、ボランティア活動を促進します。 (1)シルバー人材センターとの連携と高齢者の就労・雇用促進 (2)老人クラブの活性化と高齢者ボランティアの促進 (3)多世代交流・地域交流の促進(宅老所の設置検討)	協議 1. 高齢者の就労、ボランティア活動を促進します。 (1)シルバー人材センターとの連携と高齢者の就労・雇用促進 (2)老人クラブの活性化と高齢者ボランティアの促進 (3)多世代交流・地域交流の促進(高齢者溜まり場創造事業:モデル地区)	試行 1. 高齢者の就労、ボランティア活動を促進します。 (1)シルバー人材センターとの連携と高齢者の就労・雇用促進 (2)老人クラブの活性化と高齢者ボランティアの促進 (3)多世代交流・地域交流の促進(高齢者溜まり場創造事業:モデル地区)	実施 1. 高齢者の就労、ボランティア活動を促進します。 (1)シルバー人材センターとの連携と高齢者の就労・雇用促進 (2)老人クラブの活性化と高齢者ボランティアの促進 (3)多世代交流・地域交流の促進(高齢者溜まり場創造事業の推進)
	金額	19,190千円	19,190千円	22,740千円	22,730千円
変更計画					
金額					
実績	検討 1. 高齢者の就労、ボランティア活動の促進を行いました。 (1)シルバー人材センターとの連携と高齢者の就労・雇用促進のひとつとして、制度外サービスの展開について協議を開始しました。 (2)老人クラブの活性化と高齢者ボランティアの促進を図るため、「生きがいと健康づくり事業(3,150千円)」を行いました。 (3)第5期介護保険事業計画・老人福祉計画を策定し、多世代交流・地域交流の促進を重点施策に位置づけました。	検討 1. 高齢者の就労、ボランティア活動の促進を行いました。 (1)シルバー人材センターとの連携と高齢者の就労・雇用促進のひとつとして、制度外サービスの展開について協議を開始しました。 (2)老人クラブの活性化と高齢者ボランティアの促進を図るため、「生きがいと健康づくり事業(3,150千円)」を行いました。 (3)第5期介護保険事業計画・老人福祉計画を策定し、多世代交流・地域交流の促進を重点施策に位置づけました。	実施 1. 高齢者の就労、ボランティア活動の促進を行いました。 (1) シルバー人材センターとの連携と高齢者の就労・雇用促進のひとつとして、ワンコインふれあいサポート事業、高齢者の居場所づくりとして、とんてん館にここサロンを開設しました。 (2) 老人クラブの活性化と高齢者ボランティアの促進を図るため、「生きがいと健康づくり事業」を行いました。	実施 1. 高齢者の就労、ボランティア活動の促進を行いました。 (1) シルバー人材センターとの連携と高齢者の就労・雇用促進のひとつとして、ワンコインふれあいサポート事業、高齢者の居場所づくりとして、とんてん館にここサロンを継続しました。 (2) 老人クラブの活性化と高齢者ボランティアの促進を図るため、「生きがいと健康づくり事業」を行いました。	0
	金額	19,340千円	20,062千円	23,890千円	21,973千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画より進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 保健センター

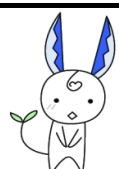
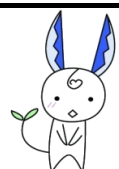


マニフェストの番号	4-8-1		施策・事業の内容	救急医療体制の充実とかかりつけ医・歯科医・薬局の推奨を行います。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	救急医療体制の整備、かかりつけ医・かかりつけ薬局の推奨			
施策・事業名	誰もが安心できる医療体制			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち	何を	救急医療体制を
	分野	健康・医療	いつまでに	平成27年度にかけて
	施策	救急医療体制整備促進施策	どのようにする	充実整備について協議検討します。
	事業	救急医療体制支援事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	協議 救急医療の充実整備、特に児童の夜間救急医療の充実整備について、医師会等と協議検討していきます。	実施 救急医療の充実整備、特に児童の夜間救急医療の充実整備について、医師会等と協議検討していきます。	実施 救急医療の充実整備、特に小児の夜間救急医療の充実整備について、医師会等と協議検討していきます。	実施 救急医療の充実整備、特に小児の夜間救急医療の充実整備について、医師会等と協議検討していきます。	実施 救急医療の充実整備、特に小児の夜間救急医療の充実整備について、医師会等と協議検討していきます。
	金額	67,199千円	65,599千円	66,000千円	66,000千円
変更計画					
	金額	0			
実績	実施 救急医療の充実整備、特に児童の夜間救急医療の充実整備について、医師会等と協議検討しています。	実施 救急医療の充実整備、特に小児の夜間救急医療の充実整備について、医師会等と協議検討しています。	実施 病院群輪番診療や初期夜間急病診療や小児休日診療などの小児の夜間救急医療を医師会等が実施しました。	実施 病院群輪番診療や初期夜間急病診療や小児休日診療などの小児の夜間救急医療を医師会等が実施しました。	0
	金額	67,199千円	65,599千円	65,409千円	64,925千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 保健センター

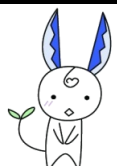

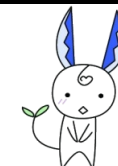

マニフェストの番号	4-8-1		施策・事業の内容	救急医療体制の充実とかかりつけ医・歯科医・薬局の推奨を行います。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	救急医療体制の整備、かかりつけ医・かかりつけ薬局の推奨			
施策・事業名	誰もが安心できる医療体制			
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち	何を	かかりつけ医・歯科医・薬局を
	分野	健康・医療	いつまでに	平成27年度にかけて
	施策	地域医療体制整備促進施策	どのようにする	市民に啓発・普及します。
	事業	地域医療体制整備支援事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	協議 医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに、市民に対しかかりつけ医・歯科医・薬局の役割等について啓発し、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及を図っていきます。 ・市広報、ホームページ等による啓発 ・健康関係事業等による啓発	実施 医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに、市民に対しかかりつけ医・歯科医・薬局の役割等について啓発し、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及を図っていきます。 ・市広報、ホームページ等による啓発 ・健康相談、健康講演会事業等による啓発	実施 医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに、市民に対しかかりつけ医・歯科医・薬局の役割等について啓発し、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及を図っていきます。 ・市広報、ホームページ等による啓発 ・健康相談、健康講演会事業等による啓発	実施 医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに、市民に対しかかりつけ医・歯科医・薬局の役割等について啓発し、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及を図っていきます。 ・市広報、ホームページ等による啓発 ・健康相談、健康講演会事業等による啓発	実施 医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに、市民に対しかかりつけ医・歯科医・薬局の役割等について啓発し、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及を図っていきます。 ・市広報、ホームページ等による啓発 ・健康相談、健康講演会事業等による啓発
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画					
金額					
実績	実施 医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに、市民に対しかかりつけ医・歯科医・薬局の役割等について啓発し、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及を図っています。 ・市広報、ホームページ等による啓発 ・健康関係事業等による啓発	実施 医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに、市民に対しかかりつけ医・歯科医・薬局の役割等について啓発し、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及を図っています。 ・市広報、ホームページ等による啓発 ・健康相談、健康講演会事業等による啓発	実施 医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに、市民に対しかかりつけ医・歯科医・薬局の役割等について啓発し、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及を図っています。 ・市広報、ホームページ等による啓発 ・健康相談、健康講演会事業等による啓発 (がん予防講演会(H25.7.15)や関市健康福祉フェスティバル(H25.10.20)における健康相談)	実施 医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに、市民に対しかかりつけ医・歯科医・薬局の役割等について啓発し、かかりつけ医・歯科医・薬局の普及を図っています。 ・市広報、ホームページ等による啓発 ・健康相談、健康講演会事業等による啓発 (がん予防講演会(H26.5.16)や関市健康福祉フェスティバル(H26.10.19)における健康相談)	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 保健センター

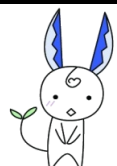
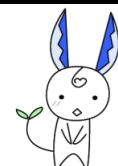
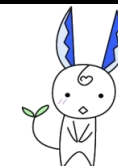

マニフェストの番号	4-9-1		施策・事業の内容	生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の普及・啓発を行います。		
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。					
マニフェストの項目	スポーツの奨励					
施策・事業名	健康スポーツの普及		何を	生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法を		
総合計画における位置付け	政策	第1章 みんなで手を取りあい、いきいき暮らせるまち			いつまでに	平成27年度にかけて
	分野	健康・医療			どのようにする	市民に啓発・普及します。
	施策	保健疾病予防推進施策				
	事業	健康づくり推進事業				

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の広報、啓発、普及を進めます。 ・広報、ホームページ等による啓発 ・健康運動教室の開催	実施 生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の広報、啓発、普及を進めます。 ・広報、ホームページ等による啓発 ・健康運動教室の開催	実施 生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の広報、啓発、普及を進めます。 ・広報、ホームページ等による啓発 ・健康運動教室の開催 ◎健康運動教室 8回コース3回開催 ◎健康づくり教室 8回 ◎ウォーキング・ノルディックウォーキング教室 各2回 ◎水中運動教室 3回	実施 生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の広報、啓発、普及を進めます。 ・広報、ホームページ等による啓発 ・健康運動教室の開催	実施 生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の広報、啓発、普及を進めます。 ・広報、ホームページ等による啓発 ・健康運動教室の開催
	金額	388千円	682千円	682千円	5,315千円
変更計画		平成24年度 ◎健康運動教室 8回コース2回開催予定 ◎健康づくり教室 8回開催予定 ◎水中運動教室 9回・25クラス開催予定			
	金額		682千円		
実績	実施 生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の広報、啓発、普及を進めています。 ・広報、ホームページ等による啓発 ・健康運動教室等の開催	実施 生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の広報、啓発、普及を進めました。 ・広報、ホームページ等による啓発 ・健康運動教室の開催 ◎健康運動教室 8回コース2回開催 ◎健康づくり教室 8回開催 ◎水中運動教室 3回 25クラス開催	実施 生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の広報、啓発、普及を進めました。 ・広報、ホームページ等による啓発 ・健康運動教室の開催 ◎健康運動教室 8回コース3回開催 ◎健康づくり教室 8回 ◎ウォーキング・ノルディックウォーキング教室 各2回 ◎水中運動教室 3回	実施 生活習慣病の予防や健康維持・増進するために適度な運動習慣及び運動療法の広報、啓発、普及を進めました。 ・広報、ホームページ等による啓発 ・はもみん体操作成 ・健康運動教室の開催 ◎健康運動教室 8回コース3回 12回コース(水中運動3回)1回 ◎健康づくり教室 8回 ◎ウォーキング教室2回、ノルディックウォーキング教室1回	0
	金額	388千円	682千円	4,261千円	4,784千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 スポーツ推進課

マニフェストの番号	4-9-2		施策・事業の内容	市民健康ウォーキングを年4回、各地域のコースも入れて実施します。
マニフェストの改革	4 弱者にやさしいまち環境。 意味ある医療・福祉・まち整備を計画。			
マニフェストの項目	スポーツの奨励			
施策・事業名	市民健康ウォーキング			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	市民健康ウォーキングを
	分野	スポーツ	いつまでに	平成27年度まで
	施策	スポーツ活動機会充実施策	どのようにする	継続して実施します。
	事業	スポーツ推進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 市民健康ウォーキングを実施します。	実施 市民健康ウォーキングを実施します。	実施 市民健康ウォーキングを実施します。	実施 市民健康ウォーキングを実施します。	実施 市民健康ウォーキングを実施します。
	金額 136千円	金額 128千円	金額 128千円	金額 128千円	金額 128千円
変更計画		市民健康ウォーキングを実施します。 (予定) 春季(武儀地域) 5月20日 夏季(板取地域) 7月 8日 秋季(武芸川地域) 9月 9日 冬季(関市地域) 11月18日	市民健康ウォーキングを実施します。 (予定) 春季(関地域) 4月 7日 夏季(関地域) 6月 9日 秋季(未定) 冬季(未定) ウォーキングコースを設定し、コース上に案内表示を設置します。	市民健康ウォーキングを実施します。 (予定) 春季(関地域) 5月11日 夏季(未定) 7月 秋季(未定) 9月 冬季(未定) 12月 中池周辺のウォーキングコース上に案内表示を設置します。	市民健康ウォーキングを実施します。 (予定) 春季(関地域) 5月17日 夏季(未定) 7月 秋季(未定) 9月 冬季(未定) 11月 ウォーキングコースを設定し、コース上に案内表示を設置します。
	金額	金額 128千円	金額 3,128千円	金額 1,128千円	金額 2,051千円
実績	実施 市民健康ウォーキングを年4回実施しました。 春季(関市地域) 5月16日 98名の参加 夏季(上之保地域) 7月10日 48名の参加 秋季(洞戸地域) 10月16日 37名の参加 冬季(武芸川地域) 12月 4日 58名の参加	実施 市民健康ウォーキングを年4回実施しました。 春季(武儀地域) 5月20日 67名の参加 夏季(板取地域) 7月 8日 32名の参加 秋季(関地域) 9月 2日 341名の参加 冬季(関地域) 11月18日 13名の参加	実施 市民健康ウォーキングを年4回実施しました。 春季(関地域) 4月 7日 中止 夏季(関地域) 6月 9日 51名参加 秋季(上之保地域) 10月 6日 24名参加 冬季(関地域) 12月15日 115名参加 ウォーキングコース(市役所・本町平和通)を設定し、コース上に案内表示を設置しました。	実施 市民健康ウォーキングを年4回実施しました。 春季(関地域) 5月11日 73名参加 夏季(関地域) 7月13日 15名参加 秋季(中池周辺) 9月14日 70名参加 冬季(武芸川地域) 11月30日 89名参加 中池周辺のウォーキングコース上に案内表示を設置しました。	0
	金額	金額 128千円	金額 2,841千円	金額 1,100千円	金額 0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

5 関の宝を掘り起こす！

郷土・せきブランドの発掘・発信。

番号	manifestoの項目	施策・事業名	担当課	頁
5-1-1	伝統ある刃物のまちのセールスとアピール	刃物産業PR事業	観光交流課	57
5-2-1	特産物のブランド化、グルメタウン計画	特産品・グルメ関連産業振興事業	観光交流課	58
5-2-2	特産物のブランド化、グルメタウン計画	特産品の開発・地産地消の推進	農務課	59
5-3-1	小水力発電など自然エネルギーの推進、太陽光発電への補助	小水力発電の推進	商工課	60
5-3-2	小水力発電など自然エネルギーの推進、太陽光発電への補助	農業用水路等を利用した小水力発電	農務課	61
5-3-3	小水力発電など自然エネルギーの推進、太陽光発電への補助	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	商工課	62
5-4-1	企業誘致と雇用確保	企業誘致事業	商工課	63
5-4-2	企業誘致と雇用確保	雇用確保事業	商工課	64
5-5-1	板取川・津保川流域の自然を活かした、山の観光、体験学習を推奨	グリーンツーリズム推進事業	市民協働課、農務課	65、66
5-5-2	板取川・津保川流域の自然を活かした、山の観光、体験学習を推奨	自然とふれあう体験事業	生涯学習課	67
5-6-1	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用したPR	SNS活用事業(行政情報)	企画政策課	68
5-6-2	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用したPR	SNS活用事業(観光情報)	観光交流課	69
5-7-1	バイオマスタウン構想の確実な推進	バイオマス活用推進事業	商工課	70

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 観光交流課


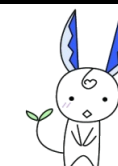
マニフェストの番号	5-1-1		施策・事業の内容	伝統産業振興のため、刃物の産地ブランド・地域ブランドとしての「関ブランド」を形成し、刃物のまち関市の名を浸透させていきます。	
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。				
マニフェストの項目	伝統ある刃物のまちのセールスとアピール				
施策・事業名	刃物産業PR事業				
総合計画における位置付け	政策	第3章 伝統のわざと新しい技術が織りなす力強い産業のまち		何を	関市の刃物産業を
	分野	観光		いつまでに	継続的に
	施策	滞在型観光促進施策		どのようにする	PRLします。
	事業	観光宣伝事業			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 ①東京都豊島区での観光物産PR(3回程度) ②東京都庁での観光物産PR ③名古屋市金山駅での観光物産PR ④名古屋市での旅行会社マスコミとの懇談会 ⑤刃物まつりPRキャラバン ⑥刃物のまちの工場見学受け入れ体制検討	試行 ①東京都豊島区での観光物産PR(3回程度) ②東京都庁での観光物産PR ③名古屋市金山駅での観光物産PR ④名古屋市での旅行会社マスコミとの懇談会 ⑤刃物まつりPRキャラバン ⑥刃物のまちの工場見学受け入れ体制データベース化・観光客受け入れ	実施 ①東京都豊島区での観光物産PR(3回程度) ②東京都庁での観光物産PR ③名古屋市金山駅での観光物産PR ④名古屋市での旅行会社マスコミとの懇談会 ⑤刃物まつりPRキャラバン ⑥刃物のまちの工場見学受け入れ	実施 ①東京都豊島区での観光物産PR(3回程度) ②東京都庁での観光物産PR ③名古屋市金山駅での観光物産PR ④名古屋市での旅行会社マスコミとの懇談会 ⑤刃物まつりPRキャラバン ⑥刃物のまちの工場見学受け入れ	実施 ①東京都豊島区での観光物産PR(3回程度) ②東京都庁での観光物産PR ③名古屋市金山駅での観光物産PR ④名古屋市での旅行会社マスコミとの懇談会 ⑤刃物まつりPRキャラバン ⑥刃物のまちの工場見学受け入れ
	金額	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円
変更計画			①東京都豊島区での観光物産PR(3回程度) ②東京都庁での観光物産PR ③名古屋市金山駅での観光物産PR ④名古屋市での旅行会社マスコミとの懇談会 ⑤刃物まつりPRキャラバン ⑥刃物のまちの工場見学受け入れ ⑦シティプロモーション事業方針決定 ⑧人気アニメの日本刀・刃物コラボによる企画	①東京都豊島区での観光物産PR(3回程度) ②東京都庁での観光物産PR ③名古屋市金山駅での観光物産PR ④名古屋市での旅行会社マスコミとの懇談会 ⑤刃物まつりPRキャラバン ⑥刃物のまちの工場見学受け入れ ⑦シティプロモーション事業推進	①東京都豊島区での観光物産PR(3回程度) ②東京都庁での観光物産PR ③名古屋市金山駅での観光物産PR ④名古屋市での旅行会社マスコミとの懇談会 ⑤刃物まつりPRキャラバン ⑥刃物のまちの工場見学受け入れ ⑦シティプロモーション事業推進
	金額			23,000千円	22,000千円
実績	検討 ①東京都豊島区(池袋商人まつり2回、池袋全国観光物産展、大塚駅商人まつり)で物産展参加し刃物の販売・PRをしました。 ②東京都庁観光物産コーナーにて、関市単独観光物産展を開催、刃物製品や特産・名産品を販売PRL、大盛況でした。 ③名古屋市金山駅で関市単独観光物産展を開催、リピーターも多く、盛況でした。 ④名古屋市内のホテルで旅行会社・マスコミ関係者約100人向け、関市のPRプレゼン、グルメ試食会を行いました。 ⑤刃物まつり開催前に、北陸地方、関西地方、名古屋市、岐阜市などで告知キャラバンを行いました。 ⑥刃物のまちの工場見学受け入れへの協力依頼を行いました。	試行 ①東京都豊島区(池袋商人まつり3回、大塚駅商人まつり)で物産展参加し刃物の販売・PRをしました。 ②東京都庁観光物産コーナーにて、関市単独観光物産展を開催、刃物製品や特産・名産品を販売PRL、大盛況でした。 ③名古屋市金山駅で関市単独観光物産展を開催、リピーターも多く、盛況でした。 ④名古屋市内のホテルで旅行会社・マスコミ関係者約100人向け、関市のPRプレゼン、グルメ試食会を行いました。 ⑤刃物まつり開催前に、北陸地方、関西地方、名古屋市、岐阜市などで告知キャラバンを行いました。 ⑥刃物のまちの工場見学の観光客受け入れを開始。旅行会社等への商談やPRも行いました。	実施 ①東京都豊島区(池袋商人まつり2回、大塚駅商人まつり)で物産展に参加し、刃物を販売・PRLしました。 ②東京都庁観光物産コーナーにて、関市単独観光物産展を開催し、刃物製品や特産・名産品を販売・PRL、大盛況でした。 ③名古屋市金山駅で関市単独観光物産展を開催し、リピーターも多く、盛況でした。 ④名古屋市内のホテルで旅行会社・マスコミ関係者約100人向け、関市のPRプレゼン、グルメ試食会を行いました。 ⑤刃物まつり開催前に、北陸地方、関西地方、名古屋市、岐阜市などで告知キャラバンを行いました。 ⑥刃物のまちの工場見学の観光客受け入れを行い、旅行会社等への商談やPRも行いました。 ⑦シティプロモーションコンセプトプランを策定する専門家を選定しました。 ⑧人気アニメ「エヴァンゲリオン」とタイアップした日本刀企画展を開催しました。	運用 ① 東京都豊島区(池袋商人まつり2回、大塚駅商人まつり)で物産展に参加し、刃物を販売・PRLしました。 ② 東京都庁観光物産コーナーにて、関市単独観光物産展を開催し、刃物製品や特産・名産品を販売・PRLしました。 ③ 名古屋市金山駅で関市単独観光物産展を開催し、リピーターも多く、盛況でした。 ④ 名古屋市内のホテルで旅行会社・マスコミ関係者約100人向け、関市のPRプレゼン、グルメ試食会などを行いました。	0
	金額	2,500千円	2,500千円	19,000千円	20,982千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 観光交流課

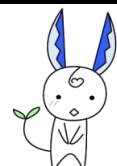
マニフェストの番号	5-2-1		施策・事業の内容	関市の名前を全国に発信できる特産品や名産品、ご当地グルメなどを開発、販売、PRし関連産業の振興を図ります。		
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。					
マニフェストの項目	特産物のブランド化、グルメタウン計画					
施策・事業名	特産品・グルメ関連産業振興事業		何を	特産品・ご当地グルメなどの振興・PRを		
総合計画における位置付け	政策	第3章 伝統のわざと新しい技術が織りなす力強い産業のまち			いつまでに	継続的に
	分野	観光				
	施策	滞在型観光促進施策				
	事業	観光宣伝事業	どのようにする	実施します。		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	試行 ①推奨観光土産品の審査・認定 ②ご当地どんぶり・グルメイベント出店PR ③関あゆ井マップ作成 ④各種物産展での販売・PR	実施 ①推奨観光土産品の審査・認定 ②ご当地どんぶり・グルメイベント出店PR ③関あゆ井マップ作成 ④各種物産展での販売・PR	実施 ①推奨観光土産品の審査・認定 ②ご当地どんぶり・グルメイベント出店PR ③関あゆ井マップ作成 ④各種物産展での販売・PR	実施 ①推奨観光土産品の審査・認定 ②ご当地どんぶり・グルメイベント出店PR ③関あゆ井マップ作成 ④各種物産展での販売・PR	実施 ①推奨観光土産品の審査・認定 ②ご当地どんぶり・グルメイベント出店PR ③関あゆ井マップ作成 ④各種物産展での販売・PR
	金額	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円
変更計画			①推奨観光土産品の審査・認定 ②ご当地どんぶり・グルメイベント出店PR ③関あゆ井マップ作成 ④各種物産展での販売・PR ⑤関あゆの新しいグルメ展開計画	①推奨観光土産品の審査・認定 ②ご当地どんぶり・グルメイベント出店PR ③関あゆ井マップ作成 ④各種物産展での販売・PR ⑤関あゆの新しいグルメ展開実施	①推奨観光土産品の審査・認定 ②ご当地どんぶり・グルメイベント出店PR ③関あゆ井マップ作成 ④各種物産展での販売・PR ⑤関あゆの新しいグルメ展開実施
	金額			1,000千円	1,000千円
実績	試行 ①15の推奨観光土産品を認定しました。 ②全国ご当地どんぶり選手権、食の祭典、地元の刃物まつりなどで関あゆ井を販売・PRしました。 ③関あゆ井マップを2万部作成し、各地で配布・設置しPRを図りました。 ④名古屋などの物産展やイベントなどで関あゆ井弁当を販売しました。	実施 ①5つの推奨観光土産品を認定しました。 ②食の祭典などのグルメイベント、刃物まつりなどで関あゆ井・関あゆ井を販売・PRしました。 ③関あゆ井マップを2万部作成し、各地で配布・設置しPRを図りました。 ④名古屋などの物産展やイベントなどで関あゆ井・関あゆ井弁当を販売しました。	実施 ① 5つの推奨観光土産品を認定しました。 ② ご当地どんぶり選手権など全国規模の大会やグルメイベントなどで関あゆ井・関あゆ井を販売・PRしました。 ③ 関あゆ井マップを2万部作成し、各地で配布・設置し、PRを図りました。 ④ 名古屋、大阪などの物産展やイベントなどで関あゆ井・関あゆ井弁当を販売しました。 ⑤ 関あゆてっさプロジェクトを10店舗で始動しました。ホームページ・マップ作成、マスコミ向け試食会、旅行会社向けお披露目会などでPRし、認知度拡大を図りました。	運用 ① 4つの推奨観光土産品を認定しました。 ② グルメイベントなどで関あゆ井・関あゆ井を販売・PRしました。 ③ 関あゆ井マップを20,000部、あゆ井マップを20,000部作成し、各地に設置し、配布・PRをしました。 ④ 名古屋、大阪などの物産展やイベントなどで関あゆ井・関あゆ井弁当を販売しました。 ⑤ 関あゆてっさプロジェクトを引き続き運用し、ホームページ・マップ作成、マスコミ向け試食会、旅行会社向けお披露目会などでPRし、認知度拡大を図りました。	0
	金額	700千円	700千円	900千円	753千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 農務課

マニフェストの番号	5-2-2		施策・事業の内容	地域の特色ある農産物の生産から加工、販売まで行う、農業の6次産業化を目指すとともに、農産物の地産地消を推進します。
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。			
マニフェストの項目	特産物のブランド化、グルメタウン計画			
施策・事業名	特産品の開発・地産地消の推進			
総合計画における位置付け	政策	第3章 伝統のわざと新しい技術が織りなす力強い産業のまち	何を	農産物の加工、流通体制を
	分野	農業	いつまでに	平成27年度までに
	施策	農業振興施策	どのようにする	確立します。
	事業	農業経営安定化事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 ①農産物の加工、特産化の検討 ②農業の6次産業化事業の掘り起こし ③関市産農産物の学校給食での利用実施	実施 ①農産物の加工、特産化の検討、作出 ②農業の6次産業化事業の実施 ③関市産農産物の学校給食での利用実施 ④地産地消のための生産流通体制整備	実施 ①農産物の加工場等の設置 ②農業の6次産業化事業の実施 ③関市産農産物の学校給食での利用実施 ④地産地消のための生産流通体制整備	実施 ①農産物の加工場等の設置 ②農業の6次産業化事業の実施 ③関市産農産物の学校給食での利用実施 ④地産地消のための生産流通体制確立	実施 ①農産物の加工場等の設置 ②農業の6次産業化事業の実施 ③関市産農産物の学校給食での利用実施 ④地産地消のための生産流通体制確立
	金額	3,400千円	3,620千円	28,000千円	20,000千円
変更計画					
金額					
実績	協議 ① 農産物の加工、特産化について、各組織、グループ参加による研修会、交流会を開催し、今後の活動方針を検討しました。 ② 農業の6次産業化事業について、実施者の計画の検討、事業内容について県と協議をしました。 ③ 関市産農産物の学校給食での利用を行いました。(食材費2,774千円)	実施 ① 農産物の加工組織で検討会を開催し、6次産業化ネットワーク協議会を設立することとしました。 ② 6次産業化事業を、3組織において実施しました。(事業費3,945千円) ③ 関市産農産物の学校給食での利用を行いました。(食材費2,955千円)	実施 ① 6次産業化ネットワーク協議会員が加工場を建設することとなりました。 ② 6次産業化事業を1組織で実施する計画を具体化しました。 ③ 関市産農産物を中心に学校給食での利用を推進しました。(食材費1,678千円) ④ 市内の飲食店事業者向けの6次産業化商品の商談会・試食会を実施しました。	実施 ①6次産業化ネットワーク協議会会員が加工場を建設し、減圧乾燥機等を導入しました。 ②新たに関サービスエリアでの販売会、都庁での販売を行いました。 ③関市産農産物を中心に学校給食での利用を推進しました。(食材費1,987千円) ④6次産業化ネットワーク協議会会員のパンフレットを飲食店等に配布し、利用拡大を図りました。	0
	金額	2,774千円	6,900千円	1,678千円	4,924千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 商工課

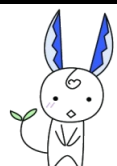


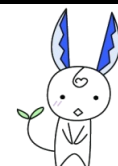
マニフェストの番号	5-3-1		施策・事業の内容	小水力発電を導入し、自然エネルギーを推進します。
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。			
マニフェストの項目	小水力発電など自然エネルギーの推進、太陽光発電への補助			
施策・事業名	小水力発電の推進			
総合計画における位置付け	政策	第4章 人と地球が共生できる安全・安心で快適なまち	何を	小水力発電を
	分野	環境・美化	いつまでに	平成25年度までに
	施策	新エネルギー導入施策	どのようにする	整備の方針を明らかにします。
	事業	新エネルギー利用促進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 小水力発電の可能性について調査研究します。	協議 ①新エネルギー対策室を設置し、自然エネルギー導入を推進します。 ②小水力発電の導入に向けて調査研究します。	検討 小水力発電の導入について関係各課と協議し、整備方針を明らかにします。	実施 小水力発電事業を検証し、拡大について検討します。	実施 小水力発電事業を検証し、拡大について検討します。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画		平成24年度より、事業所管課がまちづくり推進課(市民協働課)から商工課になりました。		板取岩本地区の小水力発電事業を推進するため、実施設計を行い、工事に着手し、平成27年度に工事を完了する計画です。 また、県単小水力発電防災機能強化事業で、下有知寺田排水路に設置した100w規模の小水力発電施設より蓄電池3.85kwへの充電を行います。	板取岩本地区の小水力発電事業については平成28年度に工事を完了する計画となりました。
	金額			0千円	
実績	検討 ①小水力発電の可能性について調査研究しました。 ②新エネルギー施策検討委員会で、小水力発電の導入について検討しました。	協議 小水力発電の導入に向け調査研究を行った結果、来年度に実施設計(板取地区)を行います。	協議 小水力発電については、候補地である板取岩本地区の費用対効果の調査を行いました。 また、県単小水力発電防災機能強化事業で、下有知寺田排水路に100w規模の小水力発電施設を設置しました。	実施 小水力発電については、板取岩本地区の工事を着手しました。 また、県単小水力発電防災機能強化事業で設置された下有知寺田排水路の小水力発電施設の運用を開始しました。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 農務課

マニフェストの番号	5-3-2		施策・事業の内容	農業用水路を利用して、発電施設を設置し、電力を利用します。	
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。				
マニフェストの項目	小水力発電など自然エネルギーの推進、太陽光発電への補助				
施策・事業名	農業用水路等を利用した小水力発電		何を	小水力発電設備を	
総合計画における位置付け	政策	第3章 伝統のわざと新しい技術が織りなす力強い産業のまち		いつまでに	平成25年度までに
	分野	農業		どのようにする	2箇所程度設置します。
	施策	農業振興施策			
	事業	農村基盤整備支援事業			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 農業用水路での小水力発電実施場所を選定します。	実施 小水力発電設備の設置 1箇所	運用 小水力発電設備の設置 1箇所	運用 施設設置後の運用を行います。	運用 施設設置後の運用を行います。
	金額	0千円	10,000千円	10,000千円	14,750千円
変更計画				板取岩本地区で、小水力発電施設の設置に向けた用地の交渉等を行い、事業の実施に向けて進めます。	板取岩本地区について、平成28年度操業に向けて事業を進めます。
	金額			14,750千円	20,000千円
実績	検討 小水力発電の実施箇所の選定で、県土連と共に板取(岩本・杉原)地区の現地調査を実施し、選定対象候補地として、県に提出しています。	協議 ・板取岩本地区について、県の概要調査を実施しました。 ・板取田口地区及び武儀多良木地区について、調査業務を委託しました。 ・県単の小水力発電防災機能強化事業で、わかくさ・ブラザ西の農業用排水路で発電設備を要望しました。	実施 ・板取岩本地区においては、県営小水力発電整備事業により、平成24年度に概略設計、平成25年度に基本設計、平成26年度に実施設計を経て事業に着手し、平成28年度に完成を見込んでいます。 ・3地区(板取明石谷・田口、武儀多良木)については、事業の費用対効果を検討した結果、取りやめとしました。 なお、実施に向けて、県、地元地区、地権者との協議及び調整を行っていたため、計画より遅れています。 ・小水力発電防災機能強化事業として、寺田地区(わかくさ・ブラザ西)に発電施設が設置されました。	実施 ・板取岩本地区においては、県営小水力発電整備事業により実施設計を行い、発電所建設用地を取得しました。	0
	金額	0千円	798千円	494千円	6,985千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画より遅れがあります。	計画より遅れがあります。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 商工課

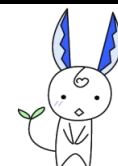


マニフェストの番号	5-3-3		施策・事業の内容	住宅用太陽光発電を設置する市民に対し、補助金を交付する要綱を制定し、運用します。
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。			
マニフェストの項目	小水力発電など自然エネルギーの推進、太陽光発電への補助			
施策・事業名	住宅用太陽光発電システム設置補助事業			
総合計画における位置付け	政策	第4章 人と地球が共生できる安全・安心で快適なまち	何を	太陽光発電設置に対する補助体系を
	分野	環境・美化	いつまでに	平成24年度までに
	施策	新エネルギー導入施策	どのようにする	制定し、運用します。
	事業	新エネルギー利用促進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 ①関市住宅用太陽光発電システム設置事業補助金交付要綱(仮称)の素案作成 ②同 要綱の告示 ③市広報等による周知	運用 要綱の運用	運用 要綱の運用	運用 ①要綱の運用 ②制度実施の効果検証 ③制度の継続又は廃止の検討	廃止
	金額	0千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円
変更計画		平成24年度より、事業所管課が生活環境課から商工課になりました。		平成25年度までにj-pecで受付完了された方を対象として、市補助金を交付します。	
	金額			10,000千円	
実績	実施 ・庁内でエネルギー施策関連の関係課で連絡会議を2回開催しました。 ・関市住宅用太陽光発電システム設置事業補助金交付要綱を策定し、告示しました。 ・市ホームページ等により周知を図りました。	運用 当初予算10,000千円、最高125件分を見込んで補助金申請を受け付けましたが、新エネルギーへの関心が高く、計画件数が増えたため、8,000千円の増額補正を行いました。 住宅用太陽光発電システム 設置計画書提出件数 295件 設置計画最大出力計 1,383.05kw 必要に応じた要綱の変更を行いました。	運用 当初予算10,000千円で受付を行いました。計画申請が増えたため、9,000千円の増額補正を行いました。 (住宅用太陽光発電システム) 設置計画書提出件数 243件 設置計画最大出力計 1,198.12kw 国の受付期間j-pec(太陽光発電普及拡大センター)が平成25年度で受付を廃止したため、関市としても、国が受付完了した方を平成26年度まで受付し、平成27年度より廃止する方針としました。	運用 当初予算10,000千円で補助金申請を受け付けました。 住宅用太陽光発電システム 設置計画書提出件数 98件 設置計画最大出力計 481.32kw 平成26年度の受付にて廃止となりました。	0
	金額	0千円	10,400千円	12,882千円	4,902千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 商工課

マニフェストの番号	5-4-1		施策・事業の内容	企業誘致制度を充実するほかに、誘致可能な土地の把握とPR活動を推進し、情報収集を進めます。
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。			
マニフェストの項目	企業誘致と雇用確保			
施策・事業名	企業誘致事業		何をいつまでにどのようにする	企業を誘致します。
総合計画における位置付け	政策	第3章 伝統のわざと新しい技術が織りなす力強い産業のまち		
	分野	伝統産業・新産業		
	施策	新企業誘致推進施策		
	事業	企業誘致事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 優良企業の誘致を積極的に推進するため、工場用地候補地情報の収集、民間主導による工場団地の造成に対する支援を行うなど工場用地の確保に努めます。	実施 優良企業の誘致を積極的に推進するため、工場用地候補地情報の収集、民間主導による工場団地の造成に対する支援を行うなど工場用地の確保に努めます。	実施 優良企業の誘致を積極的に推進するため、工場用地候補地情報の収集、民間主導による工場団地の造成に対する支援を行うなど工場用地の確保に努めます。	実施 優良企業の誘致を積極的に推進するため、工場用地候補地情報の収集、民間主導による工場団地の造成に対する支援を行うなど工場用地の確保に努めます。	実施 優良企業の誘致を積極的に推進するため、工場用地候補地情報の収集、民間主導による工場団地の造成に対する支援を行うなど工場用地の確保に努めます。
	金額	24,870千円	24,134千円	41,462千円	39,389千円
変更計画					
	金額				
実績	実施 関市内の企業立地を促進するため、市内に立地した企業に工場等設置奨励金を交付しました。(奨励金対象企業 9社) また、優良企業の誘致を積極的に推進するため、工場用地候補地情報の収集を行いました。(分譲可能用地 2区画)	実施 関市内の企業立地を促進するため、市内に立地した企業に工場等設置奨励金を交付しました。(奨励金対象企業 6社) また、優良企業の誘致を積極的に推進するため、工場用地候補地情報の収集を行いました。(分譲可能用地 2区画)	実施 関市内の企業立地を促進するため、市内に立地した企業に工場等設置奨励金を交付しました。(奨励金対象企業 9社) また、優良企業の誘致を積極的に推進するため、工場用地候補地情報の収集を行いました。(分譲可能用地 2区画) 新たな産業用地として、池尻・笠神工業団地や市内の他地域での工業用地造成について検討しました。	実施 関市内の企業立地を促進するため、市内に立地した企業に工場等設置奨励金を交付しました。(奨励金対象企業 10社) また、優良企業の誘致を積極的に推進するため、工場用地候補地情報の収集を行い、分譲可能用地2区画について企業誘致を進めました。(分譲可能用地 2区画) 新たな産業用地として、池尻・笠神工業団地や市内の他地域での工業用地造成について	0
	金額	32,082千円	19,100千円	41,769千円	30,434千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 商工課


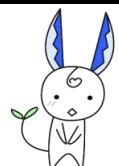
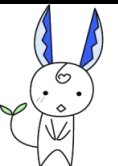
マニフェストの番号	5-4-2		施策・事業の内容	岐阜県及び雇用促進協議会と連携して、地元企業向け会社説明会を開催することで、市内の雇用を確保します。		
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！	郷土・せきブランドの発掘・発信。				
マニフェストの項目	企業誘致と雇用確保					
施策・事業名	雇用確保事業		何を	地元企業への就職希望者が地元企業に就職できるように地元企業向けの会社説明会を		
総合計画における位置付け	政策	第3章 伝統のわざと新しい技術が織りなす力強い産業のまち			いつまでに	平成27年度までに
	分野	労働力				
	施策	労働力確保促進施策				
	事業	就労就業支援事業	どのようにする	毎年開催し、地元企業と地元企業への就職希望者とのマッチングを継続的に行い、地元就労支援を行います。		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 岐阜県と連携を行い、地元企業向け就職説明会を開催します。 また、雇用促進協議会と連携を行い、新卒者向けの企業説明会の開催及び地元求人情報誌の作成を行います。	実施 岐阜県と連携を行い、地元企業向け就職説明会を開催します。 また、雇用促進協議会と連携を行い、新卒者向けの企業説明会の開催及び地元求人情報誌の作成を行います。	実施 岐阜県と連携を行い、地元企業向け就職説明会を開催します。 また、雇用促進協議会と連携を行い、新卒者向けの企業説明会の開催及び地元求人情報誌の作成を行います。	実施 岐阜県と連携を行い、地元企業向け就職説明会を開催します。 また、雇用促進協議会と連携を行い、新卒者向けの企業説明会の開催及び地元求人情報誌の作成を行います。	実施 岐阜県と連携を行い、地元企業向け就職説明会を開催します。 また、雇用促進協議会と連携を行い、新卒者向けの企業説明会の開催及び地元求人情報誌の作成を行います。
	金額	5,641千円	5,591千円	5,266千円	5,066千円
変更計画					
	金額				
実績	実施 今年度は、岐阜県と共同で8月に高齢者向けの地元企業説明会を、10月に一般の方向けの地元企業説明会を行いました。また雇用促進協議会と共同で新卒者向けの企業説明会を4月に行い、地元求人情報誌を2月に作成しました。	実施 岐阜県(ジンチャレ)と共同で、11月に一般・学生向けの合同企業説明会を行いました(参加企業20社、参加者115名)。また、雇用促進協議会と共同で、4月に新卒者向けの合同会社説明会を行い(参加企業36社、参加者130名)、2月に地元企業求人情報誌を作成しました。 ※金額(労務対策費)のうち、本事業実績に係る経費は3,000千円	実施 岐阜県(ジンチャレ)と共同で、10月に一般・学生向けの合同企業説明会を行いました(参加企業18社、参加者80名)。また、雇用促進協議会と共同で、4月に新卒者向けの合同会社説明会を行い(参加企業34社、参加者120名)、2月に地元企業求人情報誌を作成しました。 ※金額(就労就業支援事業費)のうち、本事業実績に係る経費は3,000千円	実施 岐阜県(ジンチャレ)と共同で、10月に一般・学生向けの合同企業説明会を行いました(参加企業18社、参加者51名)。また、雇用促進協議会と共同で、4月に新卒者向けの合同会社説明会を行い(参加企業35社、参加者130名)、2月に地元企業求人情報誌を作成しました。 ※金額(就労就業支援事業費)のうち、本事業実績に係る経費は3,000千円	0
	金額	5,511千円	5,120千円	5,221千円	5,084千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 市民協働課

マニフェストの番号	5-5-1		施策・事業の内容	グリーンツーリズムや生活体験を通して関市の魅力を伝え、交流人口の増加を図ります。
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。			
マニフェストの項目	板取川・津保川流域の自然を活かした、山の観光、体験学習を推奨			
施策・事業名	グリーンツーリズム推進事業			
総合計画における位置付け	政策	第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち	何を	グリーンツーリズム実施体制を
	分野	地域振興	いつまでに	平成25年度までに
	施策	交流居住施策	どのようにする	確立し、都市住民を受入れます。
	事業	空き家対策事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	協議 ①組織を確立します。 ②地域資源の掘り起こしを実施します。 ③試行的な受入を実施します。	試行 ①受入組織体制をさらに強化します。 ②小学校やスポーツ団体、都市住民へPRします。 ③試行的な受入を実施します。	実施 ①小学校やスポーツ団体、都市住民へPRします。 ②受入を実施します。	実施 ①小学校やスポーツ団体、都市住民へPRします。 ②受入を実施します。	実施 ①小学校やスポーツ団体、都市住民へPRします。 ②受入を実施します。
	金額	500千円	500千円	500千円	0千円
変更計画					
	金額				
実績	協議 ①受入組織を設立し、体制を強化しました。 ②人材育成や地域資源の掘り起こしに取り組みました。 ③小学生を対象とした受入を試行的に実施しました。 ④パンフレット及び安全管理マニュアルを作成しました。 ⑤小学校を招致するためのPRを実施しました。	試行 ①組織体制を強化しました。 ②人材育成や地域資源の掘り起こしに取り組みました。 ③小学生を対象とした民泊、体験事業の受入を試行的に実施しました。 ④観光イベント等でPR活動を実施しました。	実施 ①事務局の組織体制を強化しました。 ②JICAと連携し、外国人を対象とした農山村の暮らし体験(民泊)を実施しました。 ③小中学生を対象とした農山村の暮らし体験(民泊)、各種日帰りイベントを実施しました。 ④観光イベント等でPR活動を実施しました。 ※板取スイス村体験塾ホームページ http://itadori-taikenjyuku.com/	実施 ①市民活動助成金を活用した「ふる里かみのほ応援隊」が立ち上がり、都市部住民の滞在型体験事業を実施しました。 ②中山間地域における地域委員会事業において、グリーンツーリズム事業が実施できるよう検討しました。	0
	金額	500千円	500千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 農務課

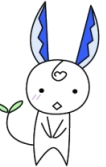
マニフェストの番号	5-5-1		施策・事業の内容	グリーンツーリズムや生活体験を通して関市の魅力を伝え、交流人口の増加を図ります。
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。			
マニフェストの項目	板取川・津保川流域の自然を活かした、山の観光、体験学習を推奨			
施策・事業名	グリーンツーリズム推進事業			
総合計画における位置付け	政策	第3章 伝統のわざと新しい技術が織りなす力強い産業のまち	何を	グリーンツーリズム実施体制を
	分野	農業	いつまでに	平成25年度までに
	施策	農業振興施策	どのようにする	確立し、都市住民を受け入れます。
	事業	農業経営安定化事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	実施 ①上之保地区において、グリーンツーリズムを実施します。 ②洞戸、板取、武儀地域において、グリーンツーリズム実施について、検討をします。	実施 ①上之保地区において、グリーンツーリズムを実施します。 ②洞戸、板取、武儀地域において、グリーンツーリズム実施について、検討をします。	実施 ①上之保地区において、グリーンツーリズムを実施します。 ②洞戸、板取、武儀地域のうち、グリーンツーリズムを実施できるところで実施していきます。	実施 ①上之保地区において、グリーンツーリズムを実施します。 ②洞戸、板取、武儀地域のうち、グリーンツーリズムを実施できるところで実施していきます。	実施 ①上之保地区において、グリーンツーリズムを実施します。 ②洞戸、板取、武儀地域のうち、グリーンツーリズムを実施できるところで実施していきます。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画					
	金額				
実績	実施 ①上之保地区において、グリーンツーリズムを実施しています。 ②洞戸、板取地域において、グリーンツーリズム実施について、検討をしました。	実施 ①上之保地区において、グリーンツーリズムを実施しています。 ②洞戸、板取地域において、グリーンツーリズム実施について、検討をしました。	実施 ①上之保地区において、グリーンツーリズムを実施しました。 ・ほほえみ農園等で、野菜など農産物の種まきと収穫、田植え・稲刈り、料理教室など、体験事業を10回実施(計232名参加) ②板取地域において、グリーンツーリズムを実施しました。 ・農産物の収穫、そば打ち体験、川下りなどの体験事業を7回実施(計139名参加)	実施 ①上之保地区において、グリーンツーリズムを実施しました。 ・ほほえみ農園等で、野菜など農産物の種まきと収穫、田植え・稲刈り、料理教室など、体験事業を実施しました。 ②板取地域において、田舎くらし体験塾を実施し、農産物の収穫、そば打ち体験、川下りなどの体験事業を行いました。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画が完了しました。	計画完了後、継続中です。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 生涯学習課




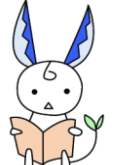
マニフェストの番号	5-5-2		施策・事業の内容	健全な大人への育成につながる体験活動への参加を促進します。
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。			
マニフェストの項目	板取川・津保川流域の自然を活かした、山の観光、体験学習を推奨			
施策・事業名	自然とふれあう体験事業			
総合計画における位置付け	政策	第5章 郷土を誇りに思い、豊かな心と志を持つ市民が育つまち	何を	自然とふれあう体験事業を
	分野	青少年	いつまでに	平成25年までに
	施策	青少年育成推進施策	どのようにする	計画し、運用します。
	事業	青少年健全育成事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 特に、市内の自然を体験事業に取り入れられるよう検討します。	協議 体験事業の内容・実施体制を協議します。	実施 自然とふれあう体験事業を実施します。	運用 子どもたちの情操教育に役立っているかを検討し、必要であれば体験内容を見直します。	運用 子どもたちの情操教育に役立っているかを検討し、必要であれば体験内容を見直します。
	金額	0千円	180千円	180千円	180千円
変更計画			子どもたちの情操教育に役立っているかを検討し、必要であれば体験内容を見直します。また、市内で実施できるか調査し、受入団体が見つければ、市内で実施します。	子どもたちの情操教育に役立っているかを検討し、必要であれば体験内容を見直します。また、市内で実施できるか調査し、受入団体が見つければ、市内で実施します。	子どもたちの情操教育に役立っているかを検討し、必要であれば体験内容を見直します。今年度、市内で実施するため、関係団体等と調整しています。
	金額			180千円	180千円
実績	検討 市内の自然を体験事業に取り入れられるよう検討し、候補地を2箇所選定しました。	変更 受入体制を調査した結果、当分の間、市内での実施が不可能だったため、市外の会場で2泊3日の自然体験事業を実施し、市内小中学生37人が参加しました。市内での受入態勢が整い次第、会場を市内に移しますが、それまでは市外の会場で事業を実施します。	運用 昨年同様、市外の会場で2泊3日の自然体験事業を実施し、市内小中学生38人が参加しました。市内での受入態勢が整い次第、会場を市内に移しますが、それまでは市外の会場で事業を実施します。	運用 市外の会場で2泊3日の自然体験事業を実施し、市内小中学生38人が参加しました。市内での実施に向けて、関係団体と調整しました。	0
	金額	0千円	180千円	180千円	180千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 企画政策課

マニフェストの番号	5-6-1		施策・事業の内容	見やすく楽しい関市の情報発信を行います。
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。			
マニフェストの項目	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用したPR			
施策・事業名	SNS活用事業(行政情報)		何をいつまでにどのようにする	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を平成24年度までに活用し、市民の交流の場として運営します。
総合計画における位置付け	政策	第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち		
	分野	情報通信		
	事業	電子自治体構築促進施策		
	事業	行政情報基盤整備運用事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	協議 SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)について、関係機関や関係課との調整を行います。(登録方法・運用方法・ホームページとの使い分け等)	実施 SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を試行しながら、関係機関や関係課と検討します。	運用 SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を市民の交流の場として活用します。	運用 SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を市民の交流の場として活用します。	運用 SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を市民の交流の場として活用します。
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
変更計画		GMS(コンテンツマネジメントシステム)を構築し、より効果的な情報発信に努めます。Facebookによる情報発信をはじめます。	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を市民の交流の場として活用します。FB良品に加入し、市内事業者の特産品等の販売を開始します。Facebook研究会による職員の自主的な運用を継続していきます。広報紙やホームページを補完する位置づけで、より身近な地域の話題などを発信していきます。	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を市民の交流の場として活用します。FB良品にて市内事業者の特産品等を販売します。Facebookを広報紙やホームページを補完する位置づけで、より身近な地域の話題などを発信していきます。	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を市民の交流の場として活用します。市内事業者の「JAPANsg」に代わるインターネットを活用した特産品等販売システムを調査、研究します。Facebookを広報紙やホームページを補完する位置づけで、より身近な地域の話題などを発信していきます。
	金額		0千円	5,250千円	4,104千円
実績	実施 Twitterの運用を開始したことにより、市役所全課からリアルタイムな情報を発信できるようになりました。イベントの直前情報が発信できたり、市の様々な業務をより身近に感じられるようになりました。	実施 GMS導入により所管課自らWebサイトのコンテンツ管理ができるようになることで旬な情報を発信することができました。(※CMSとは簡単にホームページ制作ができるように作られたソフトウェア・アプリケーションのことです。)小規模な市内業者の特産品等の販売促進支援を行う為に武雄市の開設したFacebookによる物販(FB良品)に加入しようと庁内会議を重ねました。(3回)関市職員有志によるFacebook研究会が発足し、7月「関ららbook」を開設しました。広報紙やホームページとは違った、職員による非公式なもので、「ゆるくスピーディー」をモットーに、従来の広報媒体とは異なる形で情報発信を行いました。	運用 SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用して7月1日より特産品等の販売を開始しました。FB良品が「JAPANsg」と名称変更し、市内業者25社より55品目の出店があり、インターネットとイベントとの併用で、63品目(185,903円)の売上げ実績がありました。「関ららbook」でイベントや観光等の情報を発信しました。	変更 SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用して7月1日より特産品等の販売を開始しました。「JAPANsg」とイベントの併用で、30品目(595,244円)の売上げ実績がありました。平成27年1月で終了しました。「関ららbook」でイベントや観光等の情報を発信しました。	0
	金額	0千円	9,660千円	3,517千円	0千円
進捗状況					
	計画より進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 観光交流課

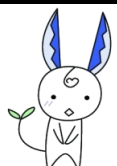
マニフェストの番号	5-6-2		施策・事業の内容	情報社会が進む中、関市の観光情報をすばやく発信し、それに対するニーズに適切かつ迅速に対応し、関市へのさらなる誘客を図ります。	
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。				
マニフェストの項目	SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)を利用したPR				
施策・事業名	SNS活用事業(観光情報)				
総合計画における位置付け	政策	第3章 伝統のわざと新しい技術が織りなす力強い産業のまち		何を	SNSを利用した情報発信・PRを
	分野	観光		いつまでに	継続的に
	施策	滞在型観光促進施策		どのようにする	運営します。
	事業	観光宣伝事業			

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	試行 ①関市観光協会Facebook開設・運営 ②関市観光協会Twitter開設・運営	実施 ①関市観光協会Facebook運営 ②関市観光協会Twitter運営 ③SNSを利用したキャンペーンなどの企画・立案	運用 ①関市観光協会Facebook運営 ②関市観光協会Twitter運営 ③SNSを利用したキャンペーンなどの実施	運用 ①関市観光協会Facebook運営 ②関市観光協会Twitter運営	運用 ①関市観光協会Facebook運営 ②関市観光協会Twitter運営
	金額	0千円	0千円	200千円	0千円
変更計画			①関市観光協会Facebook運営 ②関市観光協会Twitter運営		
	金額		0千円	0千円	
実績	試行 ①関市観光協会Facebookを開設、週2回程度観光情報を発信しました。 ②関市観光協会Twitterを開設、毎日投稿し情報発信しました。	実施 ①関市観光協会Facebookを開設、週2回程度観光情報を発信しました。 ②関市観光協会Twitterを、週2回程度投稿し情報発信しました。	運用 ①関市観光協会Facebookを運営。週2回程度観光情報を発信しました。 ②関市観光協会Twitterを運営。週2回程度投稿し情報発信しました。 ③岐阜県観光連盟が運営する「岐阜県の観光地まる分かり」サイトを利用して情報発信しました。	運用 ①関市観光協会Facebookを運営。週2回程度観光情報を発信しました。 ②関市観光協会Twitterを運営。週2回程度投稿し情報発信しました。 ③岐阜県観光連盟が運営する「岐阜県の観光地まる分かり」サイトや「ぎふの旅ガイド」、日本自動車連盟が運営する「JAFナビ」を利用して情報発信しました。	0
	金額	0千円	0千円	0千円	0千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画に変更があります。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 商工課

マニフェストの番号	5-7-1		施策・事業の内容	バイオマスタウン構想の中に挙げられている様々なバイオマスについて、今後の利活用推進を検討します。
マニフェストの改革	5 関の宝を掘り起こす！ 郷土・せきブランドの発掘・発信。			
マニフェストの項目	バイオマスタウン構想の確実な推進			
施策・事業名	バイオマス活用推進事業			
総合計画における位置付け	政策	第4章 人と地球が共生できる安全・安心で快適なまち	何を	木質ペレットを利用する設備を
	分野	環境・美化	いつまでに	
	施策	新エネルギー導入施策	どのようにする	市の施設に導入します。
	事業	新エネルギー利用促進事業		

区分	年度別内容				
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
計画	検討 バイオマスタウン構想の推進について検討します。	協議 ①バイオマスタウン推進協議会を設置し、3回程度開催します。 ②関係機関や関係課との調整を行います。 ③市の施設の建設・整備に合わせて、木質ペレットを利用する設備の導入を提案します。	協議 ①新エネルギー導入推進検討委員会を、3回程度開催し情報の共有を図ります。 ②関係機関や関係課との調整を行います。	協議 ①新エネルギー導入推進検討委員会を、3回程度開催し情報の共有を図ります。 ②関係機関や関係課との調整を行います。	協議 ①新エネルギー導入推進検討委員会を、3回程度開催し情報の共有を図ります。 ②関係機関や関係課との調整を行います。
	金額	0千円	332千円	332千円	332千円
変更計画		平成24年度より、事業所管課が生活環境課から商工課になりました。		新エネルギーの導入を推進するため、ビジョンを作成します。 また、道の駅のイベントで木質ペレットのPRを行うため、関係課と情報共有して推進します。 なお、廃棄物系バイオマスについても、引き続き候補地を調査し、協議していきます。	
	金額			1,585千円	
実績	検討 バイオマスタウン推進協議会において、京都府南丹市内にあるバイオマス関連施設の視察を実施しました。	協議 バイオマスも含めた新エネルギー導入推進検討委員会を設置し、関係課と協議を行い、白川町の木質バイオマス発電施設の視察を実施しました。バイオマス発電施設の設置を希望する業者との協議を重ねました。	協議 新エネルギー導入推進検討委員会を、先進地視察も含め2回開催し、庁内関係課の情報共有を図りました。 また、廃棄物系バイオマス発電施設については、設置に向けて事業者と協議を重ねましたが、地元同意が得られず、中止となりました。	協議 関市における新エネルギーの可採量調査を行いました(太陽光、小水力、風力、地熱、木質・廃棄物系バイオマス)。 関市新エネルギービジョン推進検討委員会を3回開催し協議を重ね、関市新エネルギービジョンを策定しました。	0
	金額	0千円	23千円	21千円	790千円
進捗状況					
	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	計画通り進んでいます。	

& 関駅西口駅前広場の整備

番号	manifestoの項目	策・事業名	担当課	頁
&	関駅西口駅前広場の整備	関駅西口駅前広場整備事業	都市整備課	73

市長マニフェスト推進計画(詳細)

担当課 都市整備課

マニフェストの番号		&			施策・事業の内容	健康福祉交流施設建設の取り止めに伴い、公共交通の拠点施設として関駅西口駅前広場の整備を進めます。
マニフェストの改革		& 関駅西口駅前広場の整備				
マニフェストの項目						
施策・事業名		関駅西口駅前広場整備事業				
総合計画における位置付け	政策	第2章 行きかい、ふれあい、つながりが生まれるまち			何を	健康福祉交流施設建設計画を
	分野	公共交通			いつまでに	平成23年度までに
	施策	鉄道バス運行充実施策			どのようにする	取り止め、関駅西口駅前広場整備を進めます。
	事業	関駅西口駅前広場整備事業				
区分	年度別内容					※ 計画及び実績の金額欄は、主な歳出・歳入の金額(単位:千円)
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
計画	変更	検討	実施	完了	運用	
	①健康福祉交流施設整備事業実施設計を行います。 ②関駅西口駅前広場整備を進めます。	関駅西口駅前広場の工事を行います。	便利で快適な公共交通の拠点施設として整備を完了し、運用を始めます。			
金額	241,065千円	90,250千円	0千円	0千円	0千円	
変更計画		①関駅西口駅前広場の整備計画を固めます。 ②関駅西口駅前広場の実施設計を行います。	関駅西口駅前広場の工事を行います。	工事については平成25年度で完了し、平成26年度より、市民協働課にて維持管理を行います。		
	金額		0千円	276,014千円	0千円	0千円
実績	変更	検討	完了	0	0	
	① 健康福祉交流施設実施設計の契約を解除しました。 ② 関駅西口駅前広場の整備計画を再度検討します。	① 関駅西口駅前広場の整備計画を固めました。 ② 関駅西口駅前広場の実施設計を行いました。	関駅西口駅前広場の工事を行いました。			
金額	82,625千円	446千円	263,385千円	0千円	0千円	
進捗状況						
	計画に変更があります。	計画通り進んでいます。	計画が完了しました。			